

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年6月29日

報告者*

酒井立志

登録番号	536	対象要件	新聞購読
行員種別	07_資料購入費	01_調査研究費	02_研修費
	06_資料作成費	07_資料購入費	03_広聴広報費
			04_要請陳情等活動費
			05_会議費
			09_事務費
			10_人件費
内容	4月分 北日本新聞、富山新聞、日本経済新聞		
購入額(円)	金額(円)	備考	
北日本新聞	3072		
富山新聞	3072		
日本経済新聞	3670		
合計	9814	/	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2017年4月分 領 収 証 発証No 00004210-201704-1

姫野921-18
酒井 立志 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
(消費税込み)

お客様の個人情報は、販売店において適切に管理し、新聞の配達・お金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

(有)北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます
上記金額正に領収致しました
年 月 日 領收

担当: []

北日本新聞

領收印

收受 平成29年6月29日
 決裁 平成29年6月30日
 処理 平成29年7月3日

領収証

17年 04月分 19年 5月 5日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売(株)

新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487

集金担当

新規購読者の紹介で5千円分のギフトカード進呈。
『お友達紹介キャンペーン』実施中です。

お問合せNO

証券NO

区域

003042

000020

004

領 収 証

2017年 04月分

姫野921-18

酒井 立志 様

銘柄	部数	金額
日本経済新聞朝	1	3670

合計金額
¥3,670

毎度ご購読ありがとうございます。
上記金額正に領収いたしました。

説明センター新湊 上野 邦夫

高岡市姫野508-17

D 17-04 TEL 0766-82-5192
FAX 0766-82-5193

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年6月29日

報告者*

酒井立志

事務所名	537	事業種別	新聞購読
内訳	07_資料購入費	01_調査研究費	02_研修費
06_資料作成費			
07_資料購入費	06_資料作成費	01_調査研究費	02_研修費
07_資料購入費	06_資料作成費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
07_資料購入費	06_資料作成費	08_事務所費	09_事務費
07_資料購入費	06_資料作成費	10_人件費	
5月分 北日本新聞、富山新聞			
支拂いの料金名	支拂い料金	備考	
北日本新聞	3072		
富山新聞	3072		
(合計)	6144		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、量ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2017年5月分 領 収 証 発証No 00004210-201705-1

酒井 立志 様

姫野921-18

銘柄	部数	金額	合計金額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)

お客様の個人情報は、販売店において適切に管理し、皆様の健康・安全、販売店からの各種ご連絡、新規・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!(有)北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領 収

K 北日本新聞

販売店
店舗名

領收印

收受 平成29年6月29日
 決裁 平成29年6月30日
 処理 平成29年7月3日

領収証

17年 05月分 29年 6月 2日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,072

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

上記金額正に領収致しました。



富山新聞販売（株）
新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487

集金担当

購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

報告者*

酒井立志

538	事務用品				
09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費	・05_会議費 ・10_人件費
4月分 インクリボン代					
プリンターインクリボン	1458	2,916円 按分2分の1 株式会社 ヤマダ電機			
合計	1458				

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

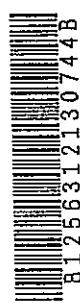
管理No.1256-312-0003937

令貢山又書

伝票No:1256-312-130744

発行日:2017年04月10日

酒井 立志 様

内訳
現金¥2,916 - (内消費税
¥2,916)但し インクリボン代
上記の金額正に領収い
株式会社ヤマダ電機
群馬県高崎市栄町1-1付
印紙税
申告納
高崎
税務署承認済

491991017 UXNR9GW
イシカワシイ 1:持帰 外:08 10
¥2,700

丁上グリーンモール中曾根店

※印刷面を内側に折って保管願います。

收受 平成29年6月29日
 決裁 平成29年6月30日
 処理 平成29年7月3日

政務活動費対象事業実績報告書

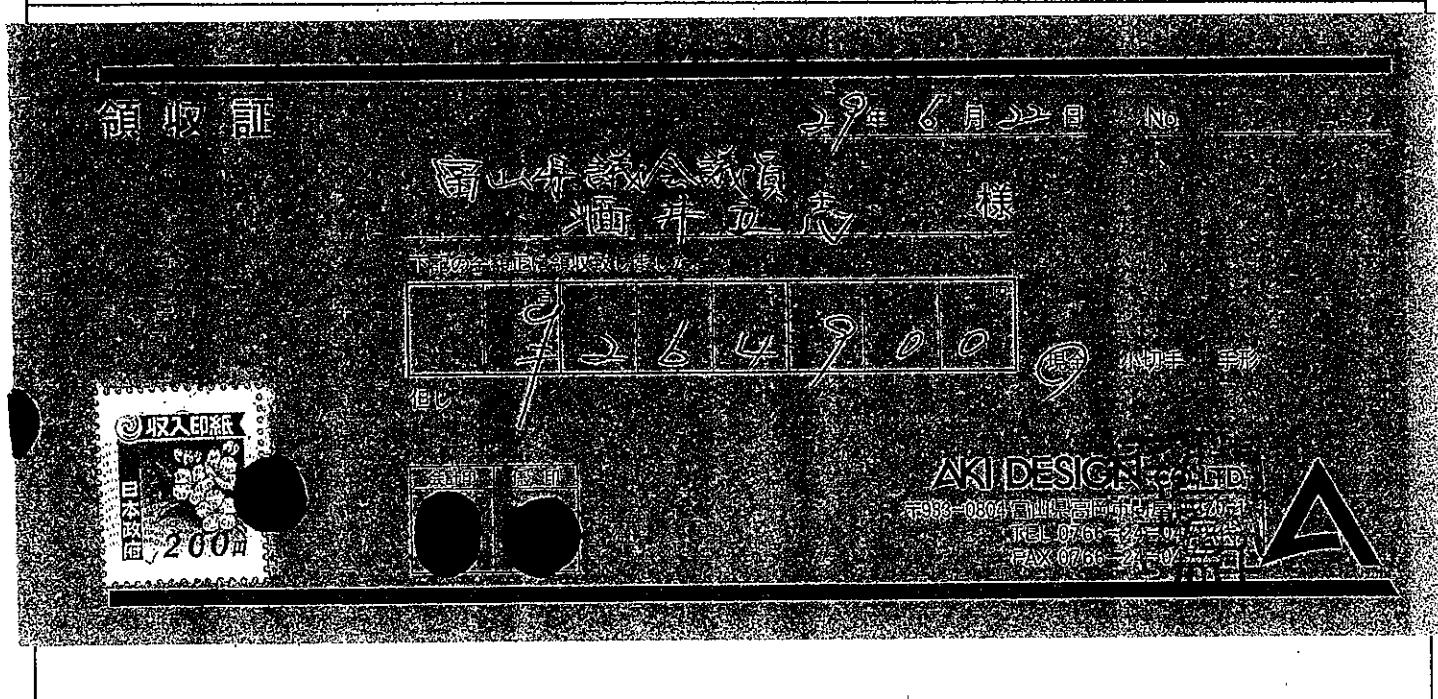
報告日* 平成29年6月29日

報告者*

酒井立志

543	県政報告書作成																					
503 広報広報費 01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費																						
酒井立志 県政報告会 スクラム 2 発行者:自由民主党富山県議会議員会 酒井立志																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>領収書の内容</th> <th>合計金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酒井立志県政報告書作成</td> <td>264900</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計金額</td> <td>264900</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		領収書の内容	合計金額	備考	酒井立志県政報告書作成	264900														合計金額	264900	
領収書の内容	合計金額	備考																				
酒井立志県政報告書作成	264900																					
合計金額	264900																					

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



收受 平成29年6月29日
 決裁 平成29年6月30日
 処理 平成29年7月3日

酒井立志による県政報告書

さかいたつし

とやま環日本海の形成 とやま環中核都市圏の形成



環日本海の中核都市圏

ごあいさつ

新緑が鮮やかに映える季節となりました。

皆様方には、いかがお過ごでございましたか。遅くなりましたが、2月定期会のご報告を申し上げます。

富山県議会2月定期会は2月27日から3月24日迄開会され、一般会計5,474億4千万円、特別会計1,734億2千万円の予算を可決しました。

現在、議会棟は耐震工事中であります。改築された新しい議場での初めての定期会であり、各議員は新鮮な気持ちで臨んでいた事であります。

石井知事は4期目最初の当初予算で、第4次産業革命や生産年齢人口の減少などに対応し、新たな県の躍進に向けて、布石を打つ姿勢を鮮明に示しました。

「とやま新時代チャレンジ幹」では、233事業に50億千円を計上。IoTを導入する中小企業への無利子融資制度を創設するほか、医療、バイオ関連産業の育成や「立山黒部」の世界ブランド化など、活動をみ出す施策を充実させました。

私は今定期会において、地方創生と働き方改革、そして富山県が長く取り組んできた北方領土問題について質問させていただきました。なんど、議会では教育警務委員会で年間教育関係、警察関係の問題を取り組んでいくこととなりました。今後も日々努力を重ねていく所存でございますので支援の程、よろしくお願い申し上げます。

富山県議会議員 酒井立志

Q. 本年は本県とロシア沿海地方の友好提携25周年となるが、記念行事等どのように実施するのか、友好提携の目的とこれまでの成果、今後の展望について聞う。

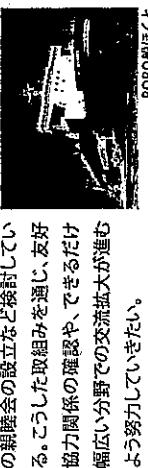
A.【石井知事】

ロシア沿海地方との交流については、1992年8月、学術、芸術文化、スポーツ、経済など各分野の広範な交流を通じ、双方の友好関係を一層発展させる目的で、友好提携協定を締結した。

経済分野では、ウラジオストクの大手船会社に要請し、伏木富山港のロシア極東航路のラストポート化や全国初のRORO船舶路の定期化を実現したほか、ロシアとの輸出入を行う荷主向けインセンティブの創設など、経済交流の促進に努めてきた。

芸術文化・スポーツ分野では、環日本海インターハイキング交流大会や、とやま世界ども舞台芸術祭などのイベントの開催、環境分野では、海岸漂着物調査や渡り鳥調査などの共同実施による環境協力の推進にも努めできただ。

本年は友好提携25周年の記念すべき年であることから、友好開拓団を現地に派遣し、記念式典を行なうほか、経済物流セミナーや観光説明会の開催、富山県に親しみを感じている方々の新婚会の設立など検討している。こうした取組みを通じ、友好協力関係の確固や、できるだけ幅広い分野での交流拡大が進むよう努めさせていただい。



酒井立志 プロフィール

昭和 30 年	新潟市生れ
昭和 53 年	中央大学経済学部卒業
昭和 55 年	高岡市姫野へ転籍
平成 17 年	高岡市議会 議員
平成 19 年	高岡市議会 経済消防常任委員会委員長
平成 21 年	高岡市議会 広報課兼議員会委員長
平成 23 年	高岡市議会 決算特別委員会委員長
平成 24 年	高岡市議会 諮問委員長
平成 25 年	高岡市議会 議長
平成 26 年	自民党高岡市選出議員会議員
平成 28 年	富山県議会 議員

専属: 国体選
伏木海陸運送株式会社富山支店
日本野球界富山県野球連盟 理事
高岡野球協会 副会長
新潟ロータリークラブ
新潟高校野球部OB会 会長
牧野校下社会福祉協議会 顧問
牧野校下社会福祉協議会 顧問
北川右岸水害予防組合議會 会員
高岡市保護司会 会員

議 会

経済建設委員会委員
総合交通対策特別委員会委員

負担軽減を図り、女性も男性も、若者も高齢者も意欲を持って活動し、企業や社会が成長し続けるよう積極的に取り組んでいただきたい。

Q. 個性と能力を十分發揮できる男女共同参画社会の実現のため、仕事と家事・育児等の両立が可能な環境づくりにどのように取り組むのか。

A.【石井知事】

県では、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりを推進するため、一般事業主行動計画の策定の義務付けの対象を県条例により、法律よりも大幅に拡大し、企業子宝率調査による優良企業の頭部や企業・自治体トップによるイクボス宣言などに賛同する企業経営者や自治体トップによる「イクボス企業同盟」とやまとやま」を発足させ、先進的な取組みを県内企業に広めるとともに、企業の枠を超えたネットワークの構築に取り組むこととしている。

また、300人以下の事業所における女性の活躍のため、大学生向けにイクメン・カジダン出前講座を実施し、女性の活躍推進や男性の主張的な家事・育児等の参画促進を図ってきたい。

A.【石井知事】

Q. 北方領土問題の一歩も早い解決が望まれる中、先般実施された日露首脳会談の結果をどのように捉えているのか。

3 北方領土等について
質問

昨年12月の日露首脳会談では、領土問題の解決に向けて何からかの進捗があるのではないかと期待していたが、具体的な進展が無かつたことは、大変残念に思っている。

会談では、北方四島での共同経済活動実施に向けて協議を開始すること、人道上の観点から、元島民の夢參制度の改善について迅速に検討することが合意された。この改善が、北方四島の領土問題の解決と平和条約の締結に向けた一歩になることを期待している。

知床半島から見る国後島。

酒井立志事務所
住所: 高岡市姫野921-18 TEL・FAX: 0766-82-2510
E-mail: [REDACTED]
<http://www4.ccnet.ne.jp/>

2月県議会定例会・収賀

平成29年
3月7日

月議会において、地方創生と働き方改革、そして富山県が早く取り組んできた北の方策問題について質問をさせていただきました。

1 地方創生の実現に向けて、働き方について

Q. 今年度創設された地方創生推進交付金について、要件の緩和や自由度をより一層高める必要があると考えるが、国に対してどのように働きかけているのか、交付金の活用状況と併せて問う。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

国の平成28年度当初予算において1,000億円の「地方創生推進交付金」が創設され、本県では、国に対しこの交付金の抜本的な活用策を提案し、全国トップクラスの採択を受けている。

北陸三県が連携し、高機能素材分野等における地域の核づくりと魅力ある雇用の創出、県内全市町村に連携し、「選ばれ続ける観光地」「富山を目指した、マーケティング、プランニングの重視的な推進、企業子宝率の調査、活用をはじめとする「働き方改革」と、企業におけるIoT導入等による「労働生産性の向上」の一体制的な推進などを行っている。

さらに、全国都道府県などを通じて働きかけてきた結果、平成29年度に向け、新規申請事業数や交付上限額、ハード事業割合について運用の見直しが行われた。

今後とも、必要な財源の確保、より活用しやすい弾力的な運用を働きかけていただきたい。

A. [石井銀光・地域振興局長]

Q. 政府関係機関の地方移転に関して、国家戦略として取り組むよう国に対して働きかけを継続すべきと考えるが。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

本県の特色・強みを活かす機関の誘致を県議会や国会議員の皆様と連携して、積極的に働きかけてきた結果、昨年3月に決定された国の移転基本方針に本県提案の3つの機関が盛り込まれ、(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA)については、昨年6月に北陸支部に設置する「アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター」研修所が開設され、12月には海外薬事行政官対象とした研修が実施された。国立循環器病研究所以及においては、昨年7月に県農業研究所を研究連携拠点として共同研究を開始、(独)教員研修センターにては、昨年8月に県内において、全国からキャリア教育を担当する小中・高の教員等を対象とした指導者養成研修を実施したところである。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

Q. 地域将来を支える人材や産業の育成に多大な貢献をしている地方大学等の振興を図ることは地方創生の施策の重要な柱と考えるが、国への働きかけはいかが。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

県の重要な要として「(地)知の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の拡充など補助事業の充実、高等教育機関など連携した観光地域づくりの促進、自然・文化・食などの観光資源の引き上げや、効果的な情報発信に取り組んできた。今年度は特に、「立山黒部」の世界ブランド化に向けた取組みのこれまででも、富山県DMOである南砺海岸

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

る「まち観光推進機構の取組みを支援し、墨林漁業・商工業等と連携した観光地域づくりの促進、最も美しい富山湾」の魅力の磨き上げ、発信、さらには、ユネスコ無形文化遺産に登録された県内3つの県山行事をはじめとした文

化遺産や文化力の魅力発信などに重点的に取り組んでいく。

また、訪日外国人旅行者を本県に呼び込んでいたため、「ミシュラン・グリーンガイド」のウェブサイト等を活用した英語・フランス語による情報発信、航空会社と連携した中国や東南アジアの現地旅行会社の招聘、飲食店等が行うベジタリアンやムスリム旅行者向けのメニュー開発等、県内大学の動きも活発化しているが、今後どのように県内大学の振興を図っていくのか。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

Q. 県立大学では、学科拡充や新棟整備など積極的に対応を進めている。富山大学でも「国際連携先端材料研究センター」の構想など、県内大学の動きも活発化しているが、今後どのように県内大学の振興を図っていくのか。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

県立大学では、学科の拡充・新設や新棟整備など、既存の課題などを踏まえ、これまでに取り組んでおり、新棟等の整備や学生募集活動強化や県内定着促進の取組みに支障している富山大学に支障している富山大学に取り組んでいます。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

Q. 県立大学では、学科の拡充・新設や新棟整備などを実現するため、昨年10月、工学部の「先端材料研究センター」の設置に向け、平成30年4月の都市デザイン学部の設置、「国際連携拠点による新技術・新製品の開発」による新技術開発、教育研究機能の強化を図っています。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

おいては、平成30年4月の都市デザイン学部の設置、「先端材料研究センター」の設置に向け、平成30年4月、工学部にて、「先端材料研究センター」を新設し、教育研究機能の強化を図っています。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

Q. 地方が行う雇用の確保、人材の育成に対する国の支援である地域創生人材育成事業や駆除産業雇用創造プロジェクトについて、本県における対応状況と成果は。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

「地城創生人材育成事業」は、平成27年度に採択され、「ものづくり」「介護・福祉」「建設」「観光」の4分野を対象に、実践的な雇用型訓練を行っている。総事業費6.9億円で、人手不足分野における就業者数目標を414人として取り組んでおり、昨年度末まで414名が就業し、今年度は、161名が就業に向けた訓練などに取り組んでいる。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

「研究開発・人材育成」と「雇用創出」を一体的に進めている。総事業費12.5億円で雇用創出目標は800人であるが、雇用創出数については、約1400名と目標を大きく上回る見込となつている。このほかセロースノーフィルムなど新たな成長産業への参入を促進する新たな設備及び訓練コースを導入し、ものづくり人材を育成するとともに、引き続き、介護施設等での介護口ボットの導入を支援し、介護業務の

Q. やまと県西園城都市圏は、昨年10月に連携協約を締結し、取組みを始めたばかりであるが、これまでの評価と今後の支援について。

A. [山崎経営管理部長]

西部6市の連携中枢都市圏「とやま吳西圏域」は、昨年10月に都市圏ビジョンを策定され、これまでに都市圏情報を発信するサイトの開設や、被爆線水原線の直通化に向けた調査、万葉線のICカード導入の検討、県と共同で設置する予定の移住サポートステーションの調査、企業説明会に向けた首都圏企業とのビジネス交流交歓会の開催など、様々な取組みを実施されており、さらに、今年4月からは、子ども医療費助成に係る給付方式を国域内で統一することを決定するなどを決定するなど、着実に連携の成績を上げていると認識している。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

県としては、引き続き都市圏の運営に参画するとともに、今年度創設した市町村連携推進モデル事業などを通じて都市圏の取組みを支援していくべきだ。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

また、都市圏の産業振興や「人材育成」、「観光誘客」など着実に実施し、都市圏の取組みを支援していくべきだ。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

県ととしては、引き続き都市圏の運営に参画するとともに、今年度創設した市町村連携推進モデル事業などを通じて都市圏の取組みを支援していくべきだ。

A. [立山黒部アルペンルート雪の大谷開拓光・地域振興局長]

また、都市圏内に取り組むべき課題として、人口減少による労働生産性の低下のため、第4次産業革命の進展を踏まえ、IoTやロボット等の活用により、IoT「富山型モビール」推進事業の実施や、IoT支援特別資金・利子補貼制度の創設を行う。さらに、工場の自動化に対する新たな設備及び訓練コースを導入し、ものづくり人材を育成するとともに、引き続

報告者*

酒井立志

整理番号	1025	事業概要*	新聞購入
用途項目	07_資料購入費 06_資料作成費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	北日本新聞	3,072	6月分
	富山新聞	3,072	6月分
	《合 計》*	6,144	
《領収書貼付枠》 〔原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。〕			

收受 平成 29 年 8 月 10 日
 決裁 平成 29 年 8 月 18 日
 処理 平成 29 年 8 月 21 日

2017年6月分 領 収 証 発証No 00004210-201706-1
酒井 立志 様

銘 柄	部数	金 額	合 計 金 額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072

(消費税込み)

おわざ後の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・販売、販売所からの各種ご連絡、着附・回収料等のご案内などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

(有)北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領 収

北日本新聞



領 収 印

領收証 17年 06月分 年 月 日 No 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘 柄	部数	金 額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売(株)

新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年8月10日

報告者*

酒井立志

整理番号	1026	事業概要*	名刺代
用途項目*	09_事務費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費	
内容			
上記事業に要じた経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	名刺作成	2,160	5,400円の40% 200枚
	《合 計》*	2,160	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 29年 8月 10日
 決裁 平成 29年 8月 18日
 処理 平成 29年 8月 21日

No.

領 収 証

三國井 立志

様

★ ¥ 5,400 -

但 多謝

29年 4月 28日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

御洋食店・販賣部・スタークル製品

株式会社
代表取締役
社長
直次
〒921-1121 富山県高岡市姫野町53-2
TEL (0766) 24-7656 FAX (0766) 24-7656



富山県議会議員

酒 さか
井 い
立 たつ
志 し



平成29年3月 富山県高岡市姫野九二一番地一八
TEL (0766) 82-12510
FAX (0766) 82-12520

報告者* 酒井立志

登録番号	1027	使途項目	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
期間	平成29年7月25日 から	活動の内容	スポーツ庁及びスポーツ関連施設の視察
	平成29年7月25日 まで	(内容) 東京オリ・パラに向けた選手強化について及びスポーツによる地域活性化等に向けてさらに、味の素ナショナルトレーニングセンターの見学	(備考)自民党本部、スポーツ庁、味の素トレーニングセンター
会場	自民党本部、スポーツ庁、		

経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス	¥36,420	宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × km =	0		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	36420

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。
枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 書 酒井立志 様

Receipt 領収年月日 2017.7.22

金額 ¥36,420 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(40669枚)
西日本旅客鉄道株式会社
新高岡駅
新高岡駅F12発行 50670-01

印紙税申告納付につき大淀
税務署承認済

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 8月 10 日
決裁 平成 29年 8月 18 日
処理 平成 29年 8月 21 日

県外・海外政務活動報告書

平成29年8月10日

整理番号	1027	会派・議員名 自民党議員会 酒井立志
活動名称	自由民主党富山県連政務調査会長会議及び視察研修会	
目的	自民党富山県連政務調査会所属議員の皆さんとスポーツ庁及びスポーツ関連施設を視察	
日程	平成 29 年 7 月 25 日(火) ~ 平成 年 月 日()	
場所 (国名・都市名、 施設名、訪問先等)	1. 自民党本部 2. スポーツ庁 3. 味の素ナショナルトレーニングセンター	
相手方等 (主催者、対応者、 参加者、同行者等)	1. 自民党本部=自民政務調査会長 茂木敏充氏 県選出国会議 宮腰、橋代議士、山田参議員 2. スポーツ庁平井明成スポーツ統括官、糸井圭子競技スポーツ課長、松田スポーツ企画官 3. 味の素ナショナルトレーニングセンター(国立スポーツ科学センター含)施設案内担当者	
行程・活動内容		
(行程) 新高岡駅/東京駅/自民党本部/スポーツ庁/味の素ナショナルトレーニングセンター		
(活動内容) 1. 自民党本部 茂木自民政務調査会長講演「日本が直面する課題と解決の方法」 2. スポーツ庁 ①東京大会に向けた選手強化について: 糸井競技スポーツ課長 ②スポーツによる地域活性化、スポーツインバウンド拡大に向けて: 松田スポーツ企画官 3. 味の素ナショナルトレーニングセンター 別添「施設紹介冊子」のとおり		

茂木政務調査会長の講義の

国内では、諸罪テロ等準備罪や加計学園、議員の暴言や閣僚の不適切発言などで、東京都議選では自民党は大敗した。

外交問題としては、北朝鮮は40回の弾道ミサイルを発射している。今では、移動式発射台、固体燃料を使用し新たな段階になっている。

ヨーロッパに於いては、東アジア情勢は身近な問題として捉えておらず、国連に於いて国際社会問題として検討し、その対応を実行していく必要がある。

北朝鮮の貿易は、90%中国との連携を図っている。

その状況下、中国は北朝鮮に対して石灰に制限を加することにしているが、次は石油を止めるよう中国に働きかける予定としている。

アメリカは、金融制裁を図り、ドル決裁できなくすることを発動等、今のステージは北朝鮮に対して、対話でなく圧力をかけることが必要である。

日本経済は良くなっている。

北陸での求人倍率は、1.49となっている。

47都道府県全て1倍を超える、この様なことは今迄なかったことである。

特に石川県の白山は、2.1倍であり、雇用の面で良い傾向となっている。

民主党時代は、1倍を超える県は47県のうち8県であった。

観光客は1,000万人から2,400万人となった。

海外向け観光商品売り上げは、3.7兆円となっている。

最近では、熊本県に観光客が結構集中している。

ただし、GDPは伸びているが、潜在成長率が伸び悩んでいる状況である。

また、賃金は伸びたが、消費は伸びていない状況である。

雇用者数は増えた。

正規雇用は77万人増、非正規雇用は12万人増である。

今、新たな保育のニーズが高まっているが、保育士の賃金は民主党時代より2%upした。

保育士は、人材不足であるが、今後50万人を確保して、待機児童ゼロを目指す。

本年度予算は、97兆2,000億円であるが、前倒しで執行することが、景気対策となる。

(平成 29 年 7 月 25 日 政調会長会議 in 党本部)

**自由民主党富山県連政務調査会
政務調査会長会議及び視察研修会**

日 時：平成 29 年 7 月 25 日 (火)

主 催：自由民主党富山県連 政務調査会

自民党県連政務調査会長会議in党本部及び視察研修会日程

● 実施日：平成29年7月25日（火）

時間	概要	備考
7：22 7：32 (かがやき536号) 9：44 9：55 ↓ (貸切バス)	JR新高岡駅 発 JR富山駅 発 JR東京駅 着 JR東京駅 八重洲南口改札口（出口）集合	（乗車：丸ノ内鍛冶橋駐車場） TEL: 03-3287-5771
10：30～11：30 ↓ (貸切バス)	■富山県連政務調査会長会議 講師：政務調査会長 茂木 敏充 先生 演題：「日本が直面する課題と解決の方向」	党本部8階リバティ2・3号室 千代田区永田町1-11-23 TEL: 03-3581-6211
11：45～12：45 ↓ (貸切バス)	■県選出国會議員との昼食懇談会	
13：00～14：00 ↓ (貸切バス)	■勉強会 演題Ⅰ：「東京大会に向けた選手強化について」 演題Ⅱ：「スポーツによる地域活性化 ～スポーツインバウンド拡大に向けて～」	スポーツ庁 千代田区霞が関3-2-2 TEL: 03-5253-4111
15：00～16：45 ↓ (貸切バス)	■味の素ナショナルトレーニングセンター	味の素ナショナルトレーニングセンター 北区西が丘3-15-1 TEL: 03-5963-0200
17：30～19：00 19：00頃	夕食懇談会 現地解散	上海大飯店 千代田区平河町2-6-3 都道府県会館B1F

平成29年7月25日

スポーツ庁

東京大会に向けた選手強化について

スポーツ庁競技スポーツ課長
畠井 圭子

アボート



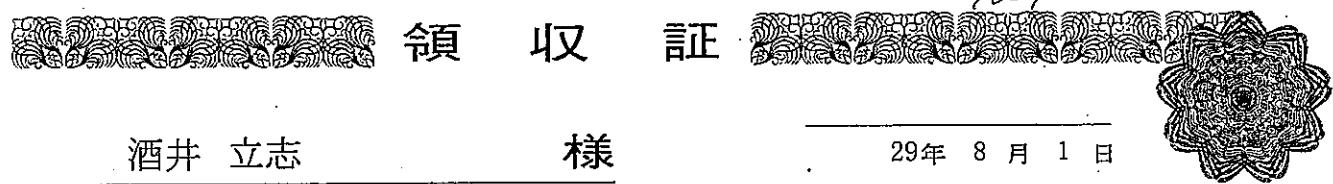
アボート

～スポーツ・サイクル・カントン大に向け～

報告者* 酒井立志

整理番号	1028	事業概要*	月刊「地方議会人」購読				
用途項目*	07_資料購入費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費	
内容							
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考				
	地方議会人	9,024	29/4~30/3 年間購読料				
	《合計》*	9,024					

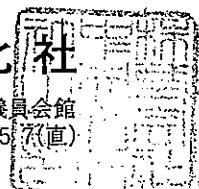
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



¥ 9,024

但し 地方議会人 平成29年4月～平成30年3月
上記の金額正に領収いたしました

株式会社 中央文化社

東京都千代田区一番町25全国町村議員会館
〒102-0082 電話 03(3264)2457(直)

收受 平成29年8月10日
決裁 平成29年8月18日
処理 平成29年8月21日

報告者* 酒井立志

整理番号	1019	事業概要*	プリンターインク	
用途項目	09_事務費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費		
内容				
上記事業に使用した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考	
	イクリボン	567	1,134円 按分 2分の1	
	《合計》*	567		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				
<p style="text-align: center;">領収書</p> <p><u>酒井立志</u> 査</p> <p>内訳 現金 ¥1,134</p> <p>但し 上記の金額正に領収いたしました。 株式会社ヤマダ電機 群馬県高崎市栄町1-1</p> <p>※印刷面を内側に折って保管願います。</p>		<p>管理No. 1256-403-0000189</p> <p>伝票No. 1256-403-006948</p> <p>発行日: 2017年08月07日</p> <p style="text-align: right;">T Lグリーンモール中曾根店</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;"> <p>税務署承認済印 印鑑登録証明書</p>  </div> <div style="flex: 1; text-align: right;"> <p>B 1256403006948B 3190380013 ICBK50 50 エフシルカ 1:標準 外08 03 ¥1,050</p> </div> </div>		

收受 平成 29 年 8 月 10 日
 決裁 平成 29 年 8 月 10 日
 処理 平成 29 年 8 月 21 日

報告者* 酒井立志

会員登録番号	1030	活動項目	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年8月1日から	活動の概要	地方議員研究会の受講
	平成29年8月1日まで	(内容) 空き家対策と人口減少問題	(備考) 講師は元武雄市長 樋渡啓祐氏
会場	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター		
支拂額			
支拂額の内訳	金額	支拂額の内訳	金額
鉄道・バス	¥36,420	宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × km = 0	研修会受講料		¥15,000
リース車 @18 × km = 0			
有料道			
駐車場		計	51420

《領

領 収 証

酒井 立志 様 29年8月1日

★ ¥ 15,000 -

但し、14:00~「空き家対策と人口減少問題」

1講座 研修会受講代として

上記正に領收回いたしました



一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06(7878)6297

(注1) 領 収 書 酒井 立志 様

(注2) 領収年月日 2017.8.1

(注3) 金額 ¥36,420 (消費税等込み)

上記金額確かに領收回いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(10547枚)
西日本旅客鉄道株式会社
新高岡駅
新高岡駅F11発行 20548-01

印紙税申告納付	大淀
につき大淀	税務署承認済

が自動計算されます。

收受 平成 29年 8月 10日
決裁 平成 29年 8月 18日
処理 平成 29年 8月 21日

県外・海外政務活動報告書

平成29年8月12日

整理番号	1030	会派・議員名	自民党議員会 酒井立志
活動名称	地方議員研究会の受講		
目的	地方議員研究会の受講 空き家対策と人口減少問題 元武雄市長 桶渡啓祐氏		
日程	平成 29 年 8 月 1 日 (火) ~ 平成 年 月 日 ()		
場所	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター		
国名・都市名、施設名、訪問先等			
相手方等	(主催者) 地方議員研究会 (対応者) 講師 桶渡啓祐氏		
主催者、対応者、参加者、同行者等			
行程・活動内容			
(行程) 新高岡駅/東京駅/TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター/東京駅/新高岡駅			
(講義内容) 空き家問題の現実と課題			
問題解決の処方箋			
人口減少問題の何が課題か			
(所感) 国内の空き家率は、少子高齢化による人口減少などの影響で深刻な状況に陥っている。 2013年に総務省が行った最新の統計によると、全国の空き家は820万戸で空き家率13.5%。 この傾向はさらに加速していくとみられ、2033年には空き家率が30%を超えると予想される。 空き家は老朽化による倒壊、失火、犯罪の温床になるなど、多くの問題をかかえている。 解体に多額の費用が掛かるのも、空き家が増える要因になっている。 空き家バンクが機能すると、新たな住宅供給減ができるのがメリット。I.Uターンなどの移住が活性化し、 政府が掲げる地方創生の足掛かりになるきっかけにもなりそうだ。			
受講資料は別添			

人口減少問題の何が課題か

人口減少問題

空き家対策

全国空き家バンク推進機構の取組み

LIFULL HOME'S 空き家バンク

記者発表会

2017年7月19日



報告者* 酒井立志

登録番号	1177	用途項目	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費	
期間	平成29年8月21日 から 平成29年8月21日 まで	活動の概要	中央省庁総務省・財務省要請陳情 (内容) 要望書提出。別紙添付 (備考) 自治財務局、理財局	
場所	総務省、財務省			
経費の内容		金額	経費の内容	金額
鉄道・バス	新高岡～東京～新高岡	¥36,420	宿泊料	
タクシー	東京駅～総務省、財務省～麹町	¥1,860	食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × km =	0	研修会受講料	
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	38280
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

領 収 書

No 093262

平成29年8月22日

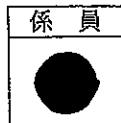
酒井立志 殿

¥ 36,420 -

取入印紙

但し8/21～東京行JR代々木

上記の金額正に領収致しました。



(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年8月31日
 決裁 平成29年8月31日
 処理 平成29年9月1日

東京駅 → 織田省
領 収 書

2017年08月21日 -019

メーター運賃 ￥970 円

合計 ￥970円

《お支払内訳》

現金 支払 ￥970 円

車両番号 000580

毎度ご乗車ありがとうございます。

 エスコート交通

TEL 0422-70-3031

(時) 東京タクシーカー

TEL 03-3648-0300

販路省 → 麻生町
領 収 書

2017年08月21日

メーター運賃 ￥890 円

運賃料金計 ￥890 円

合計 ￥890円

現金 支払 ￥890 円

毎度ご乗車ありがとうございます。

上記金額正に領収致しました。

KASHIWAGI TAXI

ドア番号 3570

お忘れ物は下記所属団体へ

東京都個人タクシー協同組合

墨田支部

TEL 03(3613)5503

時間外TEL 03(6271)0006

お問い合わせは

(一社) 東京都個人タクシー協会

TEL 03(3947)1461

ご要望は

(公財) 東京タクシーセンター

TEL 03(3648)0300

県外・海外政務活動報告書

平成 29年8 月31 日

整理番号	1177	会派・議員名 自民党議員会 酒井立志
活動名称	中央省庁本県出向者と自民党富山県議会5部会別意見交換会	
目的	中央省庁:総務省、財務省 要望書提出 陳情活動	
日程	平成 29 年 8 月 21 日 (月) ~ 平成 年 月 日 ()	
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	1. 総務相 2. 財務省	
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	総務省: 自治財務局調査課長 出口和宏氏 大臣官房広報室長 新田一郎氏 自治行政局課長補佐 長岡丈道氏 財務省: 理財局計画官 廣光俊昭氏 総務課審査室長 漆畠有浩氏	
行程・活動内容		
(行程) 新高岡駅/東京駅/総務省/財務省/都市センターホテル/東京駅/新高岡駅		
(内容) 1. 地方創生、人口減少対策の推進について等 2. 地方分権実現のための安定した地方税財政制度の確立について 別紙「要望書」のとおり		
(所感) 都会の人は一度富山に行けば必ずファンになると思う。 東京から富山への人には奨学金を無償にするくらい思い切ったことをしてはどうか。 都会から人を追い出すぐらい強気で対応すべきでは。 東京人は「ふるさと」が無いので「ふるさと」体験ができるシステム作りをしては。		

※日帰りの政務活動を含む。

要 望 書

平成29年8月21日

自由民主党富山県議会議員会

報告者* 酒井立志

48

監理番号	1382	便益項目	01_調査研究費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年7月6日 から 平成29年7月9日 まで	活動の概要	富山県議会日露友好議員連盟訪露
場所	ロシア（ウラジオストク）	(内容)	(備考) 別紙のとおり
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料 (@17,200円×3泊)	51,600
タクシー		食事代 朝食3回 昼食3回 夕食2回	11,500
航空機 (空港税・空港間移動費含む)	106,850	ガイド・通訳費	26,000
自家用車 @37 × km = 0		現地バス代	22,000
リース車 @18 × km = 0		渡航に伴う費用	33,240
有料道			
駐車場		計	251,190
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日
決裁 平成 年 月 日
処理 平成 29年 9月 20日

領 収 証

No. 19359

自民党富山県議会議員会議員会
富山県議会日露友好議員連盟 殿

平成 29 年 9 月 20 日

¥ 3,337,080-

(税込)

但しロシア在地ろ詔令団費用として

上記の金額正に領収致しました



□本社 富山市奥田新町1番地(ボルファートとやま)
TEL (076) 431-2000 FAX (076) 431-2735
□ファーポーレ店 □高岡大和町店 □金沢営業所
□名古屋支店 □東京支店



H27.8. 2×50×100 ①

自民党富山県議会議員会政調会
富山県議会日露友好議員連盟 様

平成29年8月15日

富山市奥田新町1番1号ホリカートやま
株式会社ニューベンゼンラベル
TEL(076)441-2000 FAX(076)431-2735

請求書(実績書)

富山県議会日露友好議員連盟訪露団に係った費用を下記に報告とご請求をいたします。

- 1、期 日 平成29年7月6日(木)~9日(日)
- 2、方 面 ロシア沿海地方(ウラジオストク)
- 3、人 員 12名様

ご請求金額 金3,337,080円

項目	実 績 額 (円)			小 計
1 航空機	航空運賃 I (成田~ウラジオストク 往復) 航空運賃 II (富山~羽田 往復)	@68,000 × 12名 @24,600 × 12名	816,000 295,200	1,111,200円
2 空港税等	空港税(成田) 空港税(ウラジオストク)	@2,610 × 12名 @1,640 × 12名	31,320 19,680	51,000円
3 空港間移動費	チャーターバス (羽田空港~成田空港 往復)	@120,000 × 1台	120,000	120,000円
4 ホテル代	ウラジオストク: ホテルヒュンダイ(1人部屋利用)	@21,000 × 3泊 × 12名	756,000	756,000円
5 ガイド費用 通訳費用	4日間 2日間	@39,000 × 4日 × 1名 @78,000 × 2日 × 1名	156,000 156,000	312,000円
6 現地バス代	4日間	@22,000 × 12名	264,000	264,000円
7 食事代 ※朝食はホテル代に含む	昼食(7/7, 8, 9) 夕食(7/6) 夕食(7/8 レセプション)	@2,500 × 3回 × 12名 @4,000 × 1回 × 12名 @10,500 × 12名	90,000 48,000 126,000	264,000円
8 渡航に伴う費用	ロシア査証(商用・業務1回用) 渡航手続き費	@30,000 × 12名 @3,240 × 12名	360,000 38,880	398,880円
9 その他費用	飲料代	@60,000 × 1式	60,000	60,000円
総合計				3,337,080円

日露友好議員連盟訪露

平成29年7月6日(木)～9日(日)
大野 永森 鶴山 酒井 藤田 川島 山崎 井上 平木 渋岡 山辺 横山議員 (12名)

項目	内 容	単価	数	小計	政務活動費		個人負担
					(1人分)	(1人分)	
航空運賃	成田～ウラジオストク 往復	68,000	12	816,000		68,000	
	富山～羽田 往復	24,600	12	295,200		24,600	
空港税等	成田	2,610	12	31,320		2,610	
	ウラジオストク	1,640	12	19,680		1,640	
空港間移動費	チャーターバス	10,000	12	120,000		10,000	
	羽田空港～成田空港 往復						
ホテル代	ウラジオストク (1人部屋) ②2,1000×3泊(朝食含む)	63,000	12	756,000	(17,200円+1,000円)×3泊	54,600	8,400
	ガイド費用	13,000	12	156,000		13,000	
通訳費用	4日間	13,000	12	156,000		13,000	
	2日間	13,000	12	156,000		13,000	
現地バス代	4日間	264,000	1	264,000		22,000	
	昼食 (7/7 7/8 7/9) @2,500×3回	7,500	12	90,000	1,500円×3回	4,500	3,000
食事代	夕食 (7/6) @ 4,000×1 (7/8) @10,500×1	4,000 10,500	12	48,000 126,000		2,000 2,000	2,000 8,500
	ロシア査証	30,000	12	360,000		30,000	
渡航に伴う費用	渡航手続き費	3,240	12	38,880		3,240	
	飲料代	5,000	12	60,000		5,000	
その他費用				3,337,080	251,190	26,900	

酒井立志

参考様式の4

県外・海外政務活動報告書

平成 年 月 日

自民党富山県議会議員会

会派・議員名 富山県議会日露友好議員連盟

整理番号	382
活動名称	富山県議会日露友好議員連盟の友好交流訪問
目的	富山県とロシア沿海地方との友好提携25周年を記念し、日露交流の更なる促進を図るため、関係機関を訪問して意見交換を行う
日程	平成29年7月6日（木）～平成29年7月9日（日）
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	・在ウラジオストク総領事館、沿海地方議会、沿海地方政府、ウラジオストク商業港 ・ウラジオストク経済サービス大学 ・ウラジオストク市内視察（ウラジオストク駅・潜水艦博物館・中央広場・凱旋門等）
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	・ロシア側対応者等は、別紙報告書のとおり ・参加者 団長 大野久芳 団員 山辺美嗣・横山 栄・平木柳太郎・浅岡弘彦・永森直人・井上 学・山崎宗良 川島 国・藤田良久・酒井立志・亀山 彰

行程・活動内容

1. 行程

各自宅→富山空港→羽田空港→成田空港→ウラジオストク空港（ウラジオストク市内）→ウラジオストク空港
→成田空港→羽田空港→富山空港

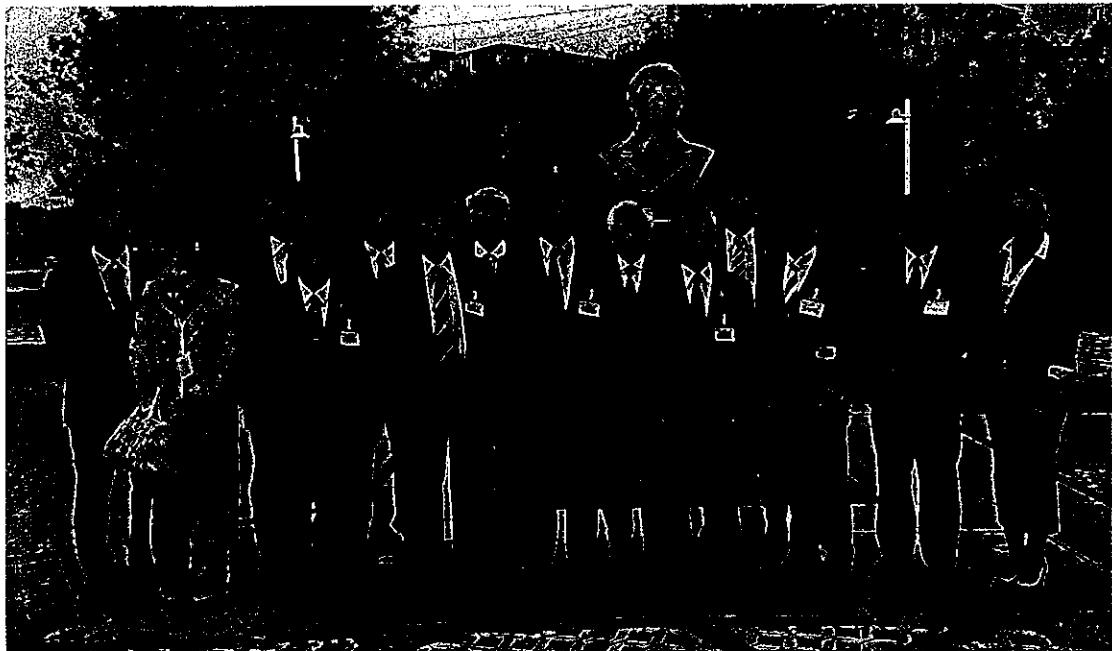
2. 活動内容

別添報告書のとおり

※日帰りの政務活動を含む。

政務活動報告書

平成 29 年 9 月 20 日



【実施日程】

平成 29 年 7 月 7 日(金) 10:00~ 在ウラジオストク日本国総領事館訪問

【視察内容】

■ 笠井達彦総領事 (1995 年設立)

- ・ウラジオストクは 2012 年の APEC サミットで発展を遂げるが、昔の古い道も残る。
- ・位置：沿海地方は、ロシア連邦の南東に位置し、北はハバロフスク地方、西は中国、南西は北朝鮮に接している。
- ・地方自治体交流もいろんな自治体と交流が行われている。1992 年に富山県とも姉妹提携を結んでいる。
- ・貿易業、商業、漁業、林業、物流、機械製作等を行っている。
- ・州内総生産が約 6500 億ルーブル。
- ・貿易国は、中国、韓国、日本、ブラジル、台湾など。
- ・日本との関係では、特に輸出しているのは、鉱物資源石炭、石油、石油製品、木材、木材関連製品、アルミニウム製品、水産物。輸入しているのは、自動車関係、機械。
- ・投資は、2012 年の APEC 関連事業の推進など契機に、8 億ドルと大幅に増加した。
- ・人口は、193 万人弱である。かつては、250 万人いた。
- ・外国人労働者は、19,032 人いる。
- ・ロシア全体の面積 1%、人口 1.3%、GRP1.1%、
- ・石油は、東シベリアからのパイプラインがあり、コジミノ港から日本にも輸出。
- ・石炭は、ボオストーチヌイ港から年間輸出量は 1,800 万トンであり、その 40% がシベリアから日本向け。
- ・天然ガスは、サハリンからのパイプラインである。国内消費だけである。LNG プラントを作ろうと言う話はあるが至っていない。
- ・車のビジネスは、日本製の中古車が多く、かつては 45 万台あったが、今は 3 万 5~6000 台になった。ただ重機はそれなりに頑張っている。
- ・ソラーズ工場があり、マツダ車を造り、もともとトヨタ車も造っていた。
- ・最近はエラ・グロナス（道路交通事故時緊急対応システム）を搭載する必要があるため、中古車搭載が難しく減ってきた。
- ・運輸面では、いろんな港（ウラジオストク港、ナホトカ港、ボオストーチヌイ港、スラビヤンカ港、ザルビノ港、ポシェット港等）へ定期航路でやってるのは、DBS クルーズフェリー「イースタンドリーム」号がウラジオストクー韓国トンヘー鳥取境港間を毎週運行している。舞鶴港にも寄港している。
- ・飛行機は、成田には、シベリア航空、オーロラ航空便があり、関空には、シベリア航空が定期便としてある。
- ・農業では、沿海地方は北海道とほぼ同緯度に位置しており、生産物の機能が低く、降水量も若干低い。日照時間は北海道と同等。トウモロコシ、大豆、小麦、米。

- ・日本の企業さんが、温室栽培をしようとしている。また、畜産業も盛んである。
- ・林業では、かなりのウエイトを占めている。合弁木材加工企業「テルネイル」社が、合板製造や木炭を扱っている。
- ・水産業では、漁獲高は 70 万トン、ロシア全体で 300 万トンの内が沿海地方である。
- ・医療関係では、北斗病院センターで患者の MRI や CT を日本の医師による診断がおこなわれる。メディカルセンターもある。外来リハビリテーションセンターを開設しようとしている。
- ・観光では、外国人は年間 50 万人訪れ、内 1 万人が日本人である。沿海地方のロシア人の海外を訪れた人は、67 万人。
- ・アルチョム郊外にカジノなど、娯楽施設がある。
- ・投資誘致政策で、TOR 先行発展領域とウラジオストク自由港という地域がある。税の減免緩和措置がある。
- ・東方経済フォーラムが 2015 年から、開かれていて、安倍総理、プーチン大統領、韓国パククネ大統領などが出席している。

■質疑応答

Q: 沿海地方の今後の可能性をどの様にみておられるのか。また、企業誘致の方で多少簡素化ビザの問題があって、これがなくなってくると、もう少し観光需要がでてくると考えるが、地方空港からの直行便など、観光というものに意欲を持っているのか。

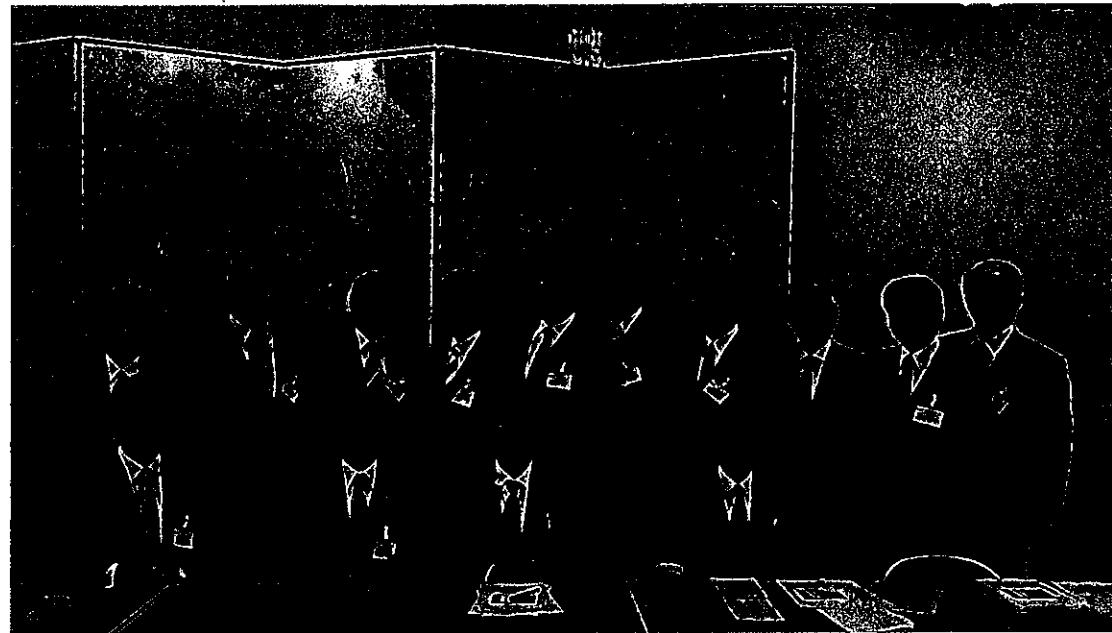
A: 経済発展の可能性は、広大な土地の沿海地方都市に 200 万人います。どでかい土地にはいいことも悪いこともある。海もあり魚もある。エネルギーもある。一方、モノを造るには長い輸送が必要でコストが掛かる。人口が少ないと、消費量が少ない。ソフトケースと言って、ここで働く女性はモスクワの若い女性より給料が低い、休暇も少ない。100 万人の都市で企業の進出がまかなえるのか。

労働ビザは難しい。観光で沿海地方に来た人は、モスクワなど、よそには行けない。チャーター便は、鳥取、新潟、静岡などに飛んでいる。日本からは、カムチャツカにも飛んでいる。(定期便ができれば) これは私自身もうれしいし、皆さんが必要を生み出してほしい。

Q: 運輸のところで説明もありましたが、貨客船を毎週運行されているとのこと。需要は伸びているのか、舞鶴が姉妹都市になっているが舞鶴側からのアプローチがあったのか。伏木港も大型船が停泊できるが。

A: 船は韓国の船で、貨物集めで苦労している。舞鶴側からのお願いがあった。

写真・資料等



【実施日程】

平成 29 年 7 月 7 日(金)11:00~12:00 沿海地方政府議会表敬訪問

【視察内容】

■出席者：ローリク・アレクサンドル・イヴァーノヴィッチ議長
クジメンコ・セルゲイ副議長、他 4 名

・当初予定にていなかったローリク議長の出席が叶い、冒頭あいさつにて我々議員団の歓迎の意を表していただき、沿海地方政府議会として国際関係の交流強化を図つてゐる旨の発言があった。

・特に、アジア太平洋州との関係を深めていく上で、日本では秋田県、鳥取県、島根県、富山県との繋がりを重視しており、富山県議会との 25 年に亘る定期的な交流がうまく進んでいることに喜びを感じているとのこと。

・意見交換では、沿海地方政府議会側から、図書館・博物館交流などの文化交流やビジネス・観光交流にさらに力を入れていきたいとの意見があり、観光資源が豊かなウラジオストックを拠点とした文化・観光交流を深めていくために、観光客数 2012 年期から 1.5 倍の約 50 万人をさらに増加させていくために電子ビザを導入してビザ手続きの簡略化を図っているところとのこと。

・富山県議会側からは、現在運休となっているロシアー富山チャーター便を復活させることで、2 時間でウラジオストックとの行き来ができるメリットを強調し、観光アクセスの向上に力を合わせる必要性を提案した。

・また、富山・伏木港の利便性が向上しているので、観光貨客船の就航や貨物船物流の

相互メリットを高めていくことの重要性も提案した。

・北方領土問題について、安倍・プーチンの首相会談での協定により、北海道に次いで引揚者の墓参が可能になったことに、多くの富山県民が喜んでいること、加えて、早期の解決のためにお互い努力していく必要があることを意見交換した。

写真・資料等



【実施日程】

平成 29 年 7 月 7 日(金) 13:00~14:00 ウラジオストク商業港視察

【視察内容】

- ・ウラジオストク海洋商業港は 1897 年創立で今年は開港 120 周年を迎えた。
- ・この港は市にとって経済の拠点となっている
- ・年中無休、24 時間の稼働で 3 部門のターミナルが存在する
 - 1. 自動車ターミナル
取扱貨物は自動車、特殊車両、コンテナ

2. 総合（多目的）ターミナル

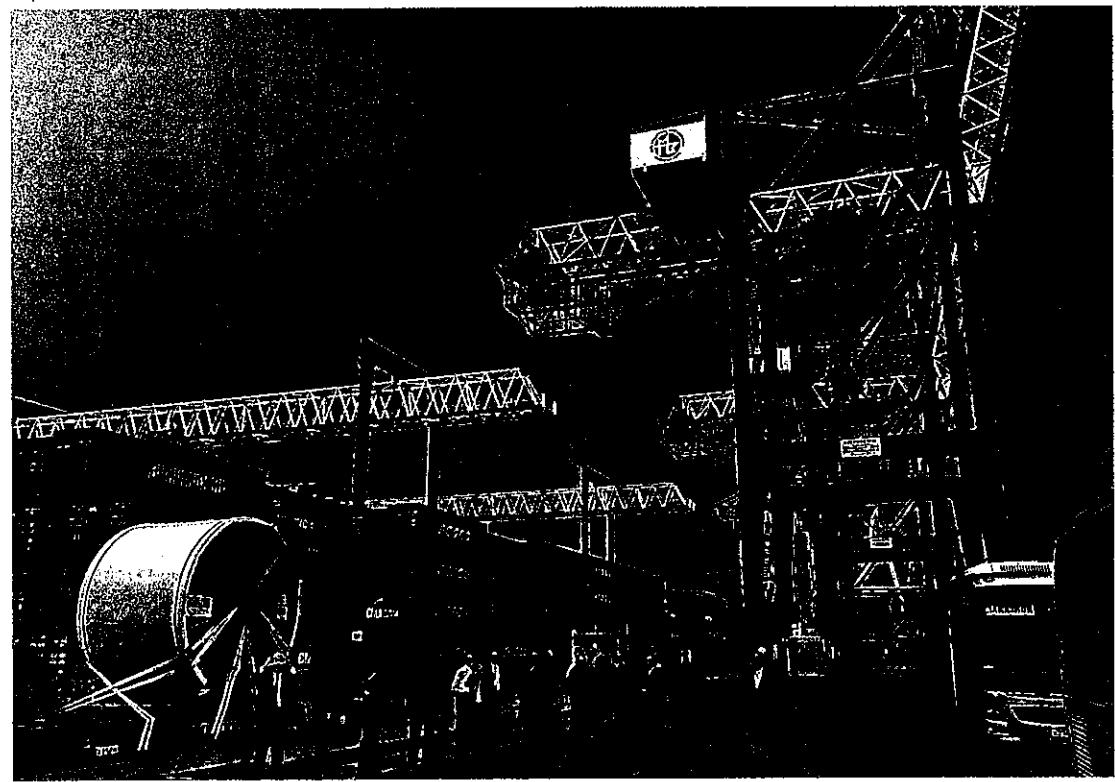
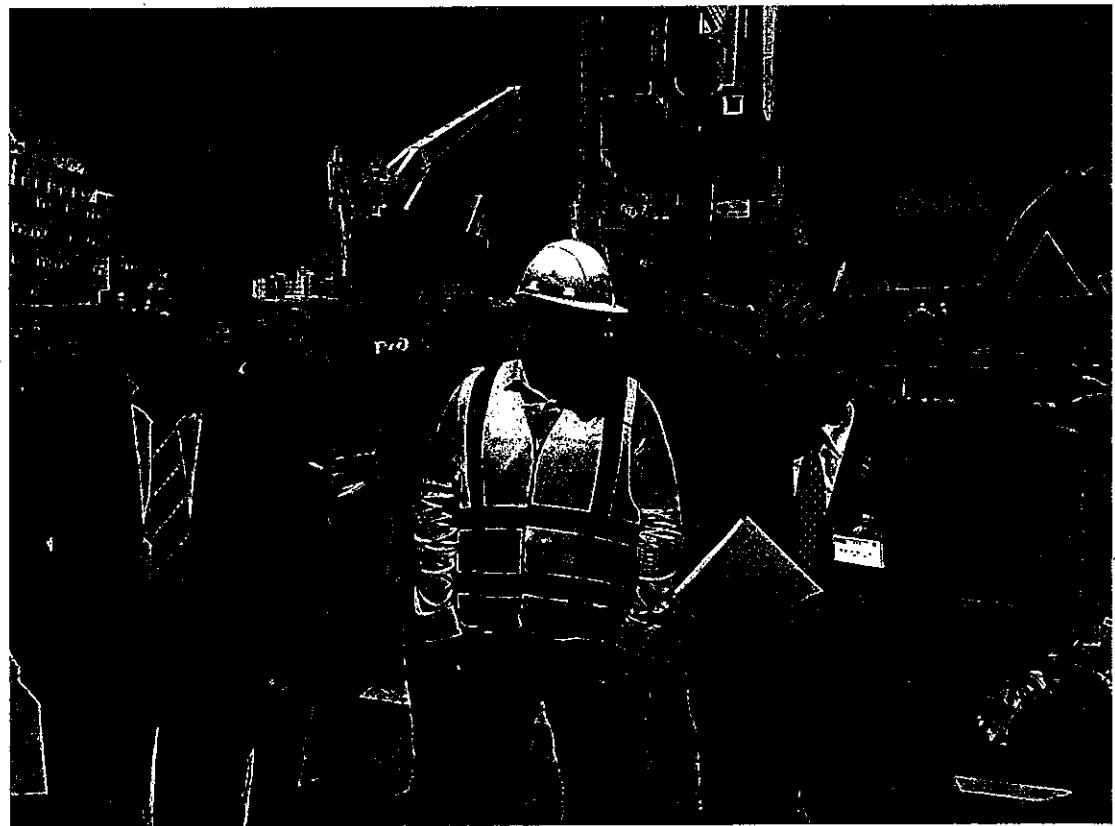
取扱貨物は雑貨、ばら積み貨物、コンテナ

3. コンテナターミナル

取扱貨物はコンテナ専用

- ・はじめに総合ターミナルについて説明をうけた。総合ターミナルは様々な貨物の中で主に工業用加工製品を扱っている。岸壁は 700m以上あって 10 個のクレーンが存在し、中国製 100 t、ドイツ製 63 t、日本製（日立）の 3 種で様々な荷物に対応できるようになっている。深水は 10m以上、特に 3 号 4 号岸壁は深水 15mの部分も存在する。
- ・港にとって一番貴重なのは、スタッフである。スタッフの技術面と安全性、その労働力が港を支えている。
- ・レールワゴンは 70 t～ 75 t取り扱いでき、 40 フィートを 2 本、 20 フィートを 4 本と、いろいろ対応できることになっている。
- ・鉄道が側線として 3 本入っていて、同時に 100 車両の出入りが可能である。
- ・ウラジオストク港の全取扱量は、 560 万 t、そのうち日本は 7 万 5 千 t、7 割が中国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、台湾など、日本は 5 位ぐらいの順位である。
- ・コンテナターミナルには、全部で 19 のクレーンがある。6 つのコンテナ専用クレーン、5 つの倉庫専用クレーン、8 つの多用途クレーンである。
- ・2014 年には、 70 万個のコンテナ積込実績を残した。
- ・コンテナ船揚荷後、シベリア鉄道までシフトするのに 2～3 日かかるが、昔からみれば速くなった。
- ・税関の対応が問題となるが日本のラインのものは、速くするようにしている。ただし、沿海地方行政社は地元の荷物を優先しているのは事実である。
- ・最近話題のヒアリ問題対策は、管理できるように機械を設置しており、各コンテナは全て管理されている。
- ・又、放射能コントロール機が 4 台設置されている。

写真・資料等



【実施日程】

平成 29 年 7 月 7 日(金) 17:00~18:00 沿海地方政府表敬訪問

【視察内容】

《ロシア側出席者》

ミクルシェフスキイ知事・バリヤンスキ副知事・スタリチコフ国際協力局長

カレシニコヴァ国際協力局職員・在ウラジオストク外交代表

笠井在ウラジオストク日本総領事

《富山側出席者》

大野団長ほか団員・稗苗議長・高木商工会議所会頭・山本知政局長

ロシア側より

- ・25 周年は重要で、我々の強固な友好関係の絆を示している。
- ・日露関係は現在活発で、安倍プーチン会談の 8 項目のプランが実行されている。その中で重要なプランは、ウラジオストクの共同発展プロジェクト。沿海州政府のマスター プランの材木・住宅・魚市場などが実行されている。大統領は極東発展を大切な戦略と位置付けている。
- ・それは 2 つの革命的な法律が施行され、ウラジオストク自由港の法律と、開発と四つの先行開発地区が指定されている。経済特区のような制度で、企業の税が免除される。ウラジオストク自由港に 16 の地区が含まれる。企業を登録すると税が免除され、土地をもらう手続きが簡素化されている。8 月から電子ビザが発効される。8 日間滞在できる。文化・教育・科学交流も大事。
- ・ビザ簡素化で観光の刺激になる。大統領令により新しい文化施設ができ、これからも開発される。マリンスキ劇場オープン。エルミタージュ美術館支店が開設される。ロスキートには東洋のパートナーの展示会を開く。
- ・友好提携に署名するが、文化交流が大事。富山文化デイズを開催し、ウラジオ文化デイズも開催することを提案する。今後連続した開催を提案する。

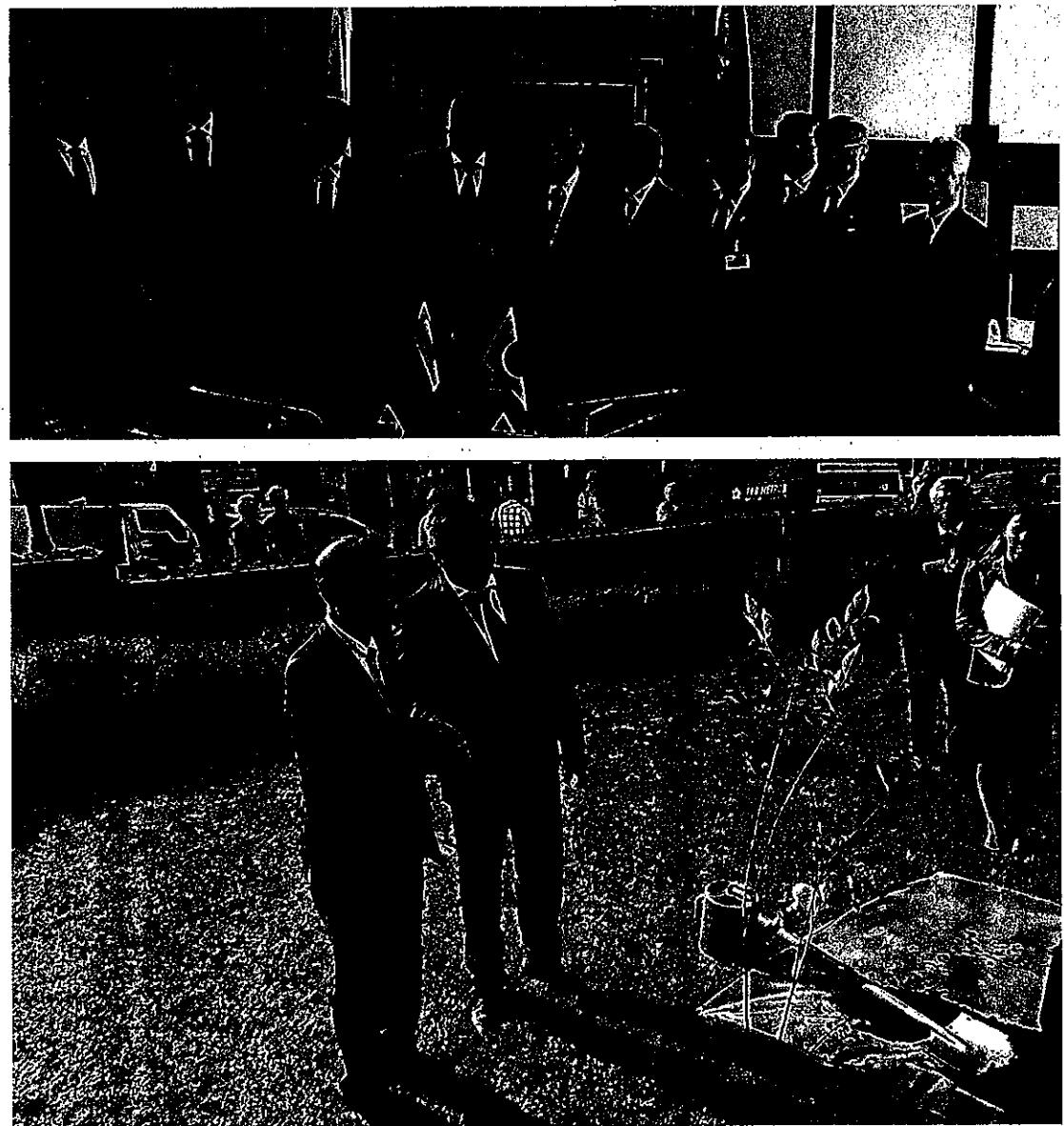
石井知事より

- ・今回の訪問は友好県省 25 周年を踏まえて新しい関係を作る。安倍プーチン会談が頻繁に 8 項目の分野項目で協定を結んだ。地方自治体としても連携交流を深めたいと思って訪問した。

- ・1992 年より人的交流経済環境などで交流が深まった。留学生を 33 名受け入れ、技術研修員も 34 名。富山から 18 名極東大学に留学し政府で研修した成果は大きい。
- ・経済物流では伏木富山港とウラジオ港の経済交流し今後一層活発に交流したい。
- ・環境面では、2004 年に 4 ケ国ナウパップを富山に誘致し、連携して日本海周辺の環境を良くしようと。大学自治体関係主討議し富山宣言をまとめた。今後も深めたい。

- ・安倍プーチン会談は地域でも具現化していきたい。ウラジオは特別経済区と別にあらたな機会を設けた。実施について具体的に勉強し連携する工夫をしたい。
- ・知事から経済の他文化交流について話があったが、前向きなビジョンを持っておられることに感銘を受けた。今回の富山文化デイズは日本政府の認証を受けてやるのは初めて。富山の伝統工芸を是非体感してほしい。
- ・富山はあまり注目されていなかったが、人間国宝や匠の技を持つ人をニューヨーク・パリ・ミラノで高い評価を受けた。ウラジオの皆さんにも体験していただきたい。
- ・とやま子供世界芸術祭で二千名が集まり、沿海地方の子供たちにも参加していただきたい。利賀村に劇団スコットで鈴木正の指導を受けに来ている。プーチン大統領とも何度か会って交流しようと合意した。

写真・資料等



【実施日程】

平成 29 年 7 月 8 日(土) 14:15~15:00 「とやま文化 D A Y S」 観察

【観察内容】

—オープニングイベント—

開催期間 = 8 日 (土) ~ 12 日 (水)、 10 時 ~ 16 時 30 分]

場所 : ウラジオストク国立経済サービス大学内 博物館展示室 (約 220 m²)

《参加者》

<富山県側>

- ・ 県知事等県関係者 = 14 人
- ・ 友好訪問団 = 10 人
- ・ 日露友好議員団 = 12 人
- ・ 観光訪問団、マスコミ等 = 8 人

<日本政府側>

- ・ 在ウラジオストク日本国総領事館 = 2 人

<ロシア側>

- ・ 沿海地方政府関係者 = 3 人
- ・ 大学関係者 = 3 人
- ・ 地元メディア関係者 = 6 人
- ・ ウラジオストク市民等 = 約 200 人

《開会次第》

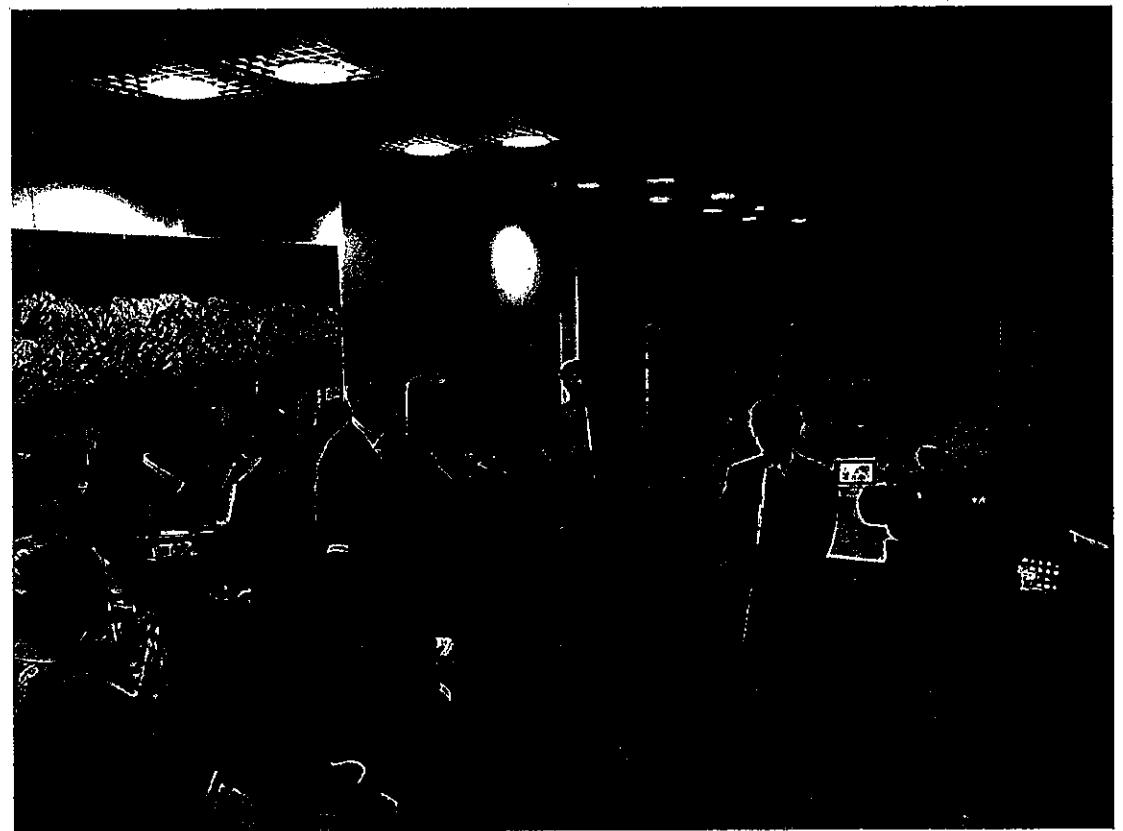
- (1) 開会挨拶 石井富山県知事
- (2) 来賓挨拶 ラザレフ・ゲンナージーウラジオストク国立経済サービス大学理事長
スタリチコフ・アレクセイ沿海地方政府国際局長
- (3) 乾杯 笠井達彦在ウラジオストク日本国総領事

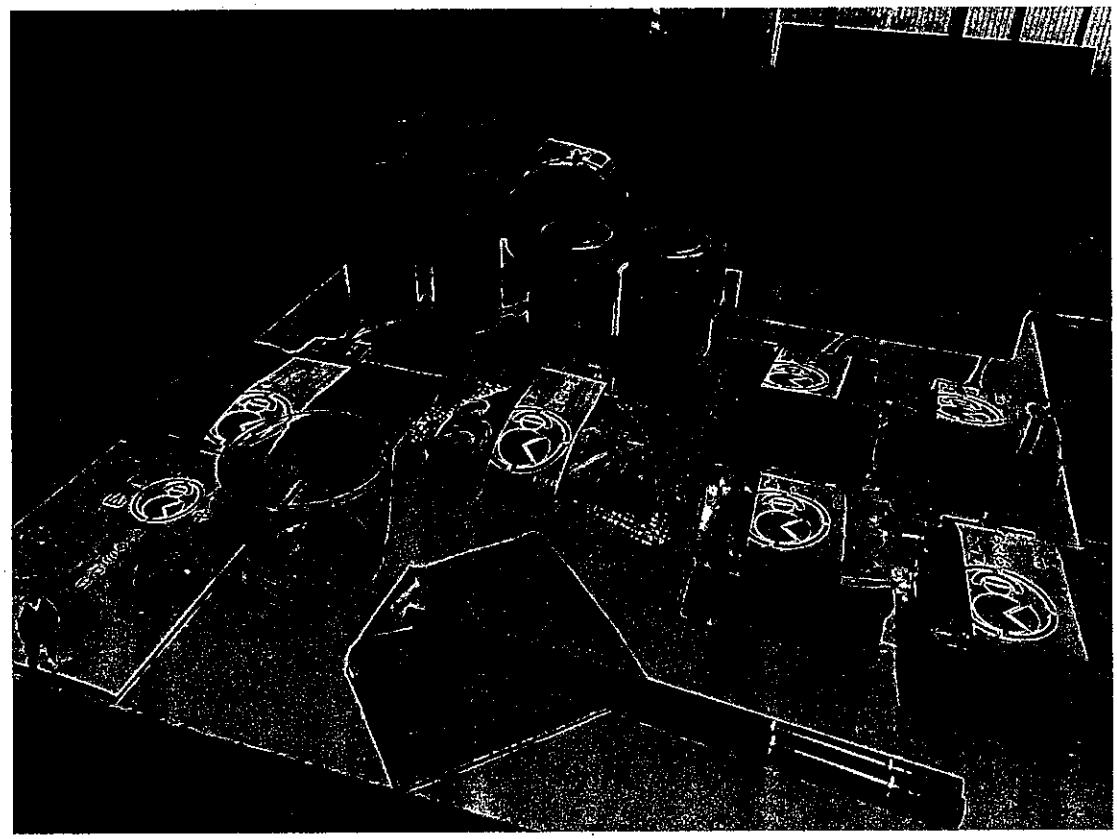
《概要》

富山県とロシアン沿海地方との友好提携 25 周年記念事業として開催された当事業は、本県の誇る伝統工芸の高岡銅器をはじめガラス作品等、44種類 105 点を展示し、シマタニ昇竜工房の伝統工芸士 [] さんによる「おりん」の調律や「すずがみ」製作の実演を披露。その他、人気の食ブランド「越中富山 幸のこわけ」の干物類や富山の地酒の試飲等が行われた。

なお、当事業は、日露両政府が実施する「ロシアにおける日本年」事業の第 1 号認定事業として開催された。

写真・資料等





酒井立志

早速、質問に入ります。

始めにロシア沿海地方訪問の成果等について質問いたします。

7月7日から7月10日にかけて、ロシア、ウラジオストックへ富山県の友好訪問団の一人として、県と沿海地方の友好提携25周年を記念した様々な式典に参加させて頂きました。

本県と沿海地方との新たな協定締結や、「沿海地方、とやま友の会」の発足、「とやま文化 DAYS」の開催や経済・物流セミナーの開催等、幅広い活動を開催し、意義深い訪問でした。

現在、日本政府は北方領土問題を含む平和条約締結交渉の進展に向け、ロシアに対して積極的なアプローチを続けています。

今年6月には、北方領土での共同経済活動の具体化を探る調査団も派遣されており、先般は、ウラジオストックで安倍首相とプーチン大統領の首脳会談が行われました。

そのことを前に沿海地方と新たな協定を締結し、貿易の促進や交通インフラの拡充、物流活性化などで互いに協力を打ち出したことは意義深いことであったと考えております。

国と国の関係は、地方と地方の関係があつてこそ。これまで25年に渡って築いた友好関係を更に強固なものにし、沿海地方と新しい関係を築いていきたいものであります。

以下、5点について質問いたします。

一点目に、7月の富山県・ロシア沿海地方友好提携25周年記念富山県友好訪問団等の派遣について、その成果を県としてどのように捉えているのか、石井知事の所見をお伺いいたします。

二点目に、今回、様々な締結が行われましたが、その内容が一歩一歩、着実に前進されることで、両県地方の活発な交流が更に進み、富山一ウラジオストク便の再就航の実現も期待ますが、今後の見通しはどうか、蔵堀観光・交通・地域振興局長にお伺いいたします。

この度、伏木富山港の物流に関して、ロシアのウラジオストク商業港を経由し、シベリア鉄道でモスクワまで14日で運べる見通しとなりました。

ウラジオストク商業港経由を巡っては、富山県は、2010年の日露知事会談以来、貨物輸送の迅速化と効率化を求めてきました。

これまで、通関貨物の積み込みに時間がかかっており、長ければモスクワまで一ヶ月以上かかることがありました。今回のウラジオストク商業港やFESUCOとの約束により、日本の物流が大きく変化し、日露双方にとってメリットとなるほか、特に日本海側の拠点港としての伏木富山港の更なる利便性の向上が期待されます。

三点目に、今回の訪問により、ウラジオストックを起点とするシベリア・ランド・ブリッジの迅速化・効率化についても前進がありました。具体的にいつ頃までに、どのような輸送日数となると想定しているのか、今後の展開を伍嶋商工労働部長にお伺いいたします。

世界の海運界の趨勢は、在来貨物船からコンテナ船へと移り、日ソ間で開拓された複合一貫輸送ルートとして、ヨーロッパ、中近東向けにSLB（シベリア・ランド・ブリッジ）ルートが昭和46年3月から開始され、コンテナ専用船が投入されました。

昭和51年にソ連のボストチヌイ港にコンテナバースが完成したことにより、SLB貨物が本格的にコンテナ専用船で輸送されることになりました。

昭和59年にボストチヌイ港と伏木富山港との間で念願のコンテナ専用船による定期航路が開設されることになり、同年11月2日、第1船目の「ミハイルプリシビン号」が富山新港に入港しました。

このコンテナ貨物の通関業務を行ったのは実は私です。

船が出港してから輸送期間中、コンテナがどの時点で何処に存在するのか分からなくなってしまったことが記憶に残っています。

30年以上経過した現在も、その状況が改善されておりません。

四点目に、本9月補正予算において、コンテナ物流情報サービスを伏木富山港に導入する経費が計上されていますが、荷主や運送事業者に対するサービス向上がどの程度期待できるのでしょうか。

ロシア定期航路の発展のためには、輸送期間の短縮に加え、貨物の所在が常に把握できる状態になることが望ましいと考えますが、今後どのように対応していくのか加藤土木部長に所見をお伺いいたします。

ロシア向けの輸送期間の短縮と安定性が向上することで、伏木富山港の比較優位性が増し、ポートセールスも大きく強化されるものと考えます。

五点目に、伏木富山港のポートセールスについて、先月には初めて名古屋市で利用促進セミナーを開催するなど新たな動きもある中、具体的にどのような点をアピールし、その成果はどのように現れているのか伍嶋商工労働部長にお伺いいたします。

以上で、一項目目の質問を終わります。

富山県議会日露友好議員連盟訪露団行程表

月日	時間	行程
7月6日 (木)	8:30 8:45~9:00 9:50 10:55 15:40 19:10 21:00頃	富山空港 国内線チェックインロビー集合 結団式(富山空港3階レセプションルーム) 富山空港 ⇒ 羽田空港 羽田空港 ⇒ 成田空港(専用送迎バス利用) チェックイン後、各自昼食 成田空港 ⇒ ウラジオストク空港 ヒュンダイホテル着 ホテル内レストランにて夕食 【ウラジオストク泊】
7月7日 (金)	10:00~10:40頃 11:00~11:40頃 12:00 13:30~15:00 16:30 17:00 18:30(仮)	ヒュンダイホテル出発(朝食後) 在ウラジオストク総領事館表敬訪問 沿海地方議会表敬訪問 昼食(経済・物流訪問団と合流) ウラジオストク商業港訪問 ホテル出発 沿海地方知事表敬訪問 富山県・沿海地方友好提携25周年記念式典・祝賀会 【ウラジオストク泊】
7月8日 (土)	8:00 12:30 14:15~15:00 17:30~19:00	ヒュンダイホテル出発(朝食後) ウラジオストク市内視察 ウラジオストク駅、鷹ノ巣展望台、C-56潜水艦博物館、 中央広場(革命戦士像) 昼食 とやま文化DAY視察(ウラジオストク経済サービス大学) ヒュンダイホテル(辰)ご休憩 富山県・沿海地方友好提携25周年記念交流会(ヒュンダイホテル) 【ウラジオストク泊】
7月9日 (日)	9:30 10:30 11:00~11:40 11:45 13:30 14:40 15:30 16:30 18:00 19:00	ヒュンダイホテル出発(朝食後) シベリア抑留者慰靈碑奉拝 軽昼食 ウラジオストク空港チェックイン ウラジオストク空港 ⇒ 成田空港 成田空港 ⇒ 羽田空港 羽田空港 ⇒ 富山空港

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年10月5日

報告者* 酒井立志

1558

議会予算特別委員会写真

03_広聴広報費

- 01_調査研究費
- 02_研修費
- 03_広聴広報費
- 04_要請陳情等活動費
- 05_会議費
- 06_資料作成費
- 07_資料購入費
- 08_事務所費
- 09_事務費
- 10_人件費

6月定例議会予算特別委員会撮影写真

内容	金額(円)	備考
写真撮影	12,960	
(合計)	12,960	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

酒井立志 様

No._____

★412960.-
但子算特別委員会撮影

29年6月23日 上記正に領収いたしました

取 入
印 紙

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-56

フォトニクス

横井 弘

〒930- 富山市上富居2-19-3
0835 ☎ 076-451-7413

收受 平成29年10月6日
 決裁 平成29年10月12日
 処理 平成29年10月12日



1706_001.jpg 1706_002.jpg 1706_003.jpg 1706_004.jpg 1706_005.jpg



1706_006.jpg 1706_007.jpg 1706_008.jpg 1706_009.jpg 1706_010.jpg



1706_011.jpg 1706_012.jpg 1706_013.jpg 1706_014.jpg 1706_015.jpg



1706_016.jpg 1706_017.jpg 1706_018.jpg 1706_019.jpg 1706_020.jpg



1706_021.jpg 1706_022.jpg 1706_023.jpg 1706_024.jpg 1706_025.jpg



1706_026.jpg 1706_027.jpg 1706_028.jpg 1706_029.jpg 1706_030.jpg



1706_031.jpg 1706_032.jpg 1706_033.jpg 1706_034.jpg 1706_035.jpg



1706_036.jpg 1706_037.jpg 1706_038.jpg 1706_039.jpg 1706_040.jpg

政務活動費対象事業実績報告書

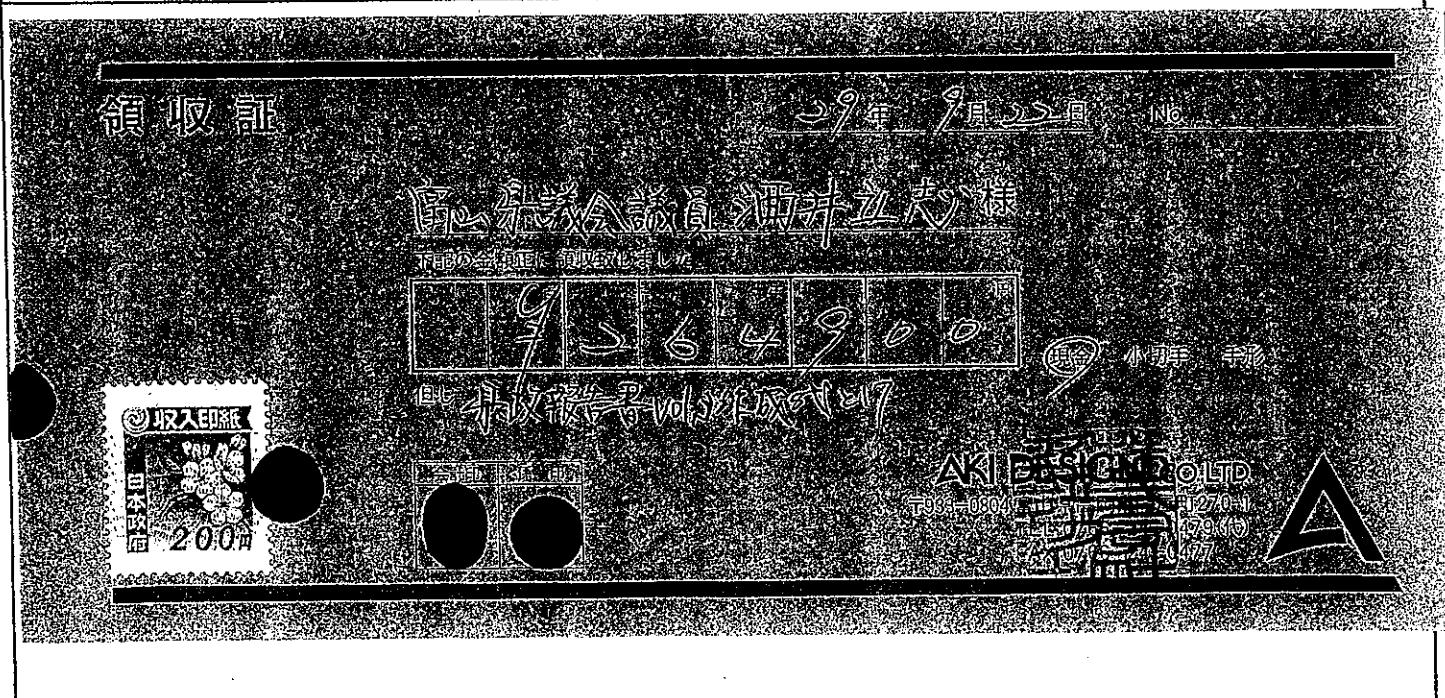
報告日* 平成29年10月5日

報告者*

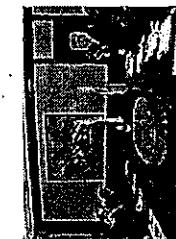
酒井立志

管理番号	1539	事業種別	県政報告書作成費			
区分項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
酒井立志 県政報告書 スクラム3 発行者:自由民主党富山県議会 酒井立志						
内訳						
支拂いの内容	金額(円)	備考				
酒井立志県政報告書作成	264,900	/				
合計	264,900					

《領収書貼付枠》（原則、領収書を貼り、量ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）



受取 平成29年10月6日
決裁 平成29年10月12日
処理 平成29年10月12日



A.【石井知事】

Q.通報開始以来、大きな効果を挙げているドクターへリについて、今後更に、ドクターへリを活用した高度救急医療の充実が求められるところだが、その課題や対応策について、聞う。

A.【石井知事】

ドクターへリは、運航開始以来、1年9ヶ月目で1,163件（一日平均1.8件）の出動どなつている。救急車による搬送（ドクターへリ）送と比較した場合、治療開始時間が平均32分短縮しており、重症症例の事後検証では、ドクターへリの活用により、死亡者数が約5割の減少、重い後遺症を残した患者も約5割の減となつていているなど、相当大きな効果が残していると考えている。

今後更に効果を高めるため、運航調整委員会や症例検討会などを定期的に行催するなど、関係機関の連携の充実強化に努めることとしている。また、ドクターへリに搭乗する医療スタッフや搬送受入病院の救急科専門医を育成・確保するため、実践的な研修など実施している。

政府に対して、ドクターへリが夜間や一定の悪天候時において安全に運航できる計器飛行の実現に向けたプロセスを明確にすること、また、救急科専門医の育成・確保に対する支援を行うよう要望しているところであります。ドクターへリを活用した高度救急医療体制の方法実強化に取り組んでいただきたい。

5 東京オリヒック・パラリンピックに向けた事前合宿の説教について

富岡 周

酒井立志 プロフィール

昭和30年	新潟市生まれ
昭和53年	新潟大学経済学部卒業
平成17年	高岡市議会議員
平成19年	高岡市議会消防常任委員会委員長
平成21年	高岡市議会広報機関委員会委員長
平成23年	高岡市議会決算特別委員会委員長
平成24年	高岡市議会副議長
平成25年	高岡市議会議員
平成26年	高岡市議会議員
平成28年	富山県議会議員

篠原・田中選	伏木海陸空港整備企画部監督
	日本好球富山県野球連盟理事
	高岡野球協会副会長
	新潟ロータリークラブ
	新潟高校野球部OB会長
	伏木地区下池会野球発展協議会副会長
	庄川放水権予防組合議会議員
	高岡市保護司会

議 会 教育委員会 委員

総合交通対策特別委員会 委員

E-mail: _____

<http://www4.caonet.ne.jp/>

酒井立志とやま晏極地域の形成

酒井立志とやま晏極地域の形成



環日本海の中核都市圏へ

さかいたつし

ごあいさつ

今定例会の本会議と予算特別委員会で質問に立ったのは22人。このうち10人が県立高校と市町を並び質問し、当局側の答弁を求めました。沿革の再編し県なり今回の再編は、自体に生じる可能性があるため、地元に一つしか高校がない議員とを中心に「地方誕生にもフレーズを掛けることになる」との感想を述べました。

県どしては子どもの数が少なくなる「人口減少社会」に県の一体感や公平性も保ちながら、どのように高校生を第一に考えた次世代の教育に向かっていくのか。議会も含めて、石井県政開幕の最大の課題となりそうです。

富山県議会議員 酒井立志

議会見聞録

平成29年5月2日

◎議会見聞録
⑥引退式典が開催され、議会見聞録にて高岡市長が司事となり、馬手カリシング・ハンドル・リンクの引退式典を司事として実施する事の趣旨について質問し答弁を頂きました。

1 五反田地区活性化委員会の活動について

Q.「高岡御車山祭」としてユネスコ無形文化遺産登録を実現に資するため、今年度は「五反田地区活性化委員会」を設立して取り組みを行なうとあります。この取り組みについて、質問します。

A.【石井類】

高岡市では、昨年12月に、「高岡御車山祭」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、本年度から、5月1日を「高岡歴史文化に親しむ日」として、市立の小・中・特別支援学校を休業日とした。

高岡市教委によると、当日、小学生の56.4%、中学生の55.6%が御車山祭に出かけ、高岡御車山会館や高岡市立博物館にも、家族とともに多岐わたる親子たちに多くの子どもたちが、また、多くの親から故郷の歴史や文化の頃から親しむ文化に接するところです。また、子供たちが、その頃から親しむ文化に親しむことで、故郷に誇りと愛着を持ち、大切になつておられることから、その大変有意味な取り組みも故郷を思う心の醸成につながる大変有意義な取り組みであると考えています。今後、この取組みが高岡市金子の取組みとなり、より一層発展していくことを期待している。

Q.昨年、県内の3つの行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたが、これらに対する今後の更なる支援について、質問します。

A.【渋谷教育課】

「高岡御車山祭」をはじめとする県内の3件の行事が、昨年、「山・鉢・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録されたが、これらの行事の保護や企画展の開催やパンフレットの車輪・神燈喪祭などの修理や企画展の開催やパンフレットの作成などの取組みを支援している。今年度も人形等の修理、行事の歴史や文化の魅力を国内外に発信するPR誌、映像、パネルなどの製作を支援している。さらに、海外プロモーションにおけるPR誌、映像、パネルなどの中止や、県内外の開催や、同じく登録行事を持つ岐阜県と県内3件の行事のPRのほか、同じく登録行事を持つ岐阜県と連携した共同開催PRイベントの開催や、両県を周遊する旅行商品の造成支援等において取り組むこととしている。

また、国と協調して支援する地域内ファイターシステムは

2 地域振興課によるバス路線の見直しについて

Q.「持続可能な地域公共交通の確立」をテーマにした、県内「バス路線の補助制度の見直し」について、問う。

A.【佐井類】

今年度、小委員会を設置し、持続可能なバス路線の実現に向けた効果的な利用促進策と、取組みを後押しする観点からの補助制度を見直しを検討している。

改正の目的は、スマートフォンの普及や小型カメラの高性能化及び、SNS等の新たな通商手段が広く日常生活に浸透するなど社会環境の変化に伴い、現行条例では不足しない新たな類型の迷惑行為に適切に対応するために行なわれる予供や女性を対象とした撮影行為に関する迷惑行為の相談件数については、平成26年は60件であり、平成25年の33件に対し、平成26年は60件あります。

監視行為に関する相談件数については、平成25年では、年間平均15件程度で推移している。があるが、過去5年では、年間平均5件程度で推移している。主な相談事例としては、商業施設や店舗において子供や女性の背後から忍び寄り、スマートフォンを直接スマークの下に差し入れて、下着等を撮影したりするものや、傘の先端部や靴のつま先部分に小型カメラを隠匿して撮影するなど巧妙な手口で実行されているものがある。

Q.監視行為の見直しにより、路線の廃止や運賃が危惧されるが、支援の継続について、問う。

A.【佐井類】

現在、国において、地域間幹線バス路線補助について、補助対象経費の上限を運用の9／20から8／20に見直すことが検討されており、県内バス路線にも影響があるため、補助制度の本邦と十分な予算確保などを要望したことである。

Q.監視行為について、現行の条例の問題点や、今回の条例改正によりどのような効果があるか、問う。

A.【白井昌彦】

本条例の問題点については、盗撮目的でカメラ等を人に向けた行為や、カメラ等を秘匿して設置する行為を規制することができることである。

条例の一部改正案では、下記等を盗撮する目的でカメラ等を「人に向ける行為や、カメラ等を秘匿して設置する行為を禁止する」ことを禁じ、盗撮行為の禁止場所を、「特定又は多数の者が利用するような場所」まで拡充するものであり、被害者に著しく不安を与えていた行為を規制できるようになります。

本改正により、県民の規範意識が高まり、違反者に対する指導・取締りとあいまって、迷惑行為が減少するものと考えている。

4 地域振興課によるバス路線の見直しについて

Q.ドクターへの出勤の半断基準として「キーワード方策」を採用しているが、「キーワード」の追加による今年度の出勤件数の見込みはどうか、問う。

A.【高橋厚生部長】

本県ドクターへの出勤要請基準では、消防機関が19番受信時又は救急現場到着時に「歩行者が死ねばされた」とや、「息が苦しい」「突然発症の激しい頭痛などのキーワードで等病苦であると判断したときに、出勤要請を行っている。具体的には、「救出に時間要する事故」や自動車事故では、「交通事故現場で歩行者が死亡した事故」や、火災や労働災害では、「直近燃焼や四肢切断しなど新たに12のキーワードを追加した。

キーワード追加後の1ヶ月間に、新たなキーワードでの出勤が全出勤件数68件のうち11件となり、今年度の出勤件数は相当程度の増加が見込まれるが、傷病者の発生状況に応じて変動するものであり、どれくらいの出勤件数になるかを見込むことはできない。

Q.ランチープポイントが増えれば、ドクターヘリの有効性も向上するが、今後の方針について、問う。

A.【高橋厚生部長】

ドクターヘリが運航するランチープointの拡張にあたっては、ヘリコプターの運航時間に「午前8時35分～35時30分」があること、周辺に路線整備の支障となる障害物がないこと、ヘリコプターの高価面にあたるなどなどを条件としており、県においては、救命救急法を実施し、速やかに搬送できるよう、ランチープointの施設を改めているところである。

県内のランチープointは、ドクターヘリの運動開始地点では、学校や公園のグラウンドなど公的施設を中心にしており、その後、民間の駐車場やゴルフ場、資材配達センターや、資材の販賣場など民間施設でも設けられており、現在は37箇所となりました。

また、運航開始地点に比べて24箇所が増加している。

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年10月5日

報告者*

酒井立志

項目名	1560	事業内容	新聞購入			
支拂項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
8月分新聞購読料						
購入店名	販売店名	金額(税込)	備考			
8月分 北日本新聞	3072	北日本新聞加藤販売店				
8月分 富山新聞	3072	富山新聞販売新湊センター				
合計	6144					
《領収書貼付枠》（原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）						

收受 平成29年10月6日
 決裁 平成29年10月12日
 処理 平成29年10月12日

領収証

17年 08月分 年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額 3,072

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

上記金額正に領収致しました。



富山新聞販売(株)

新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

2017年 8月分 領 収 証 発証No. 00004210-201708-1
酒井 立志 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072 (消費税込み)

お客様の個人情報は、当社が各において適切に管理し、新聞の販売・集金、販売店からの各種ご連絡、若葉・山陽物販のご案内などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年10月11日

報告者*

酒井立志

1585	北日本新聞、富山新聞	
07_資料購入費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費	
7月分新聞購読		
支払額(円)	支払日	支払先
7月分北日本新聞代	3,072	北日本新聞加藤販売店
7月分富山新聞代	3,072	富山新聞販売新湊センター
合計	6144	
《領収書貼付枠》（原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）		

收受 平成29年10月12日
 決裁 平成29年10月18日
 処理 平成29年10月18日

領收証

17年 07月分 年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売（株）

新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

2017年7月分 領收証 発証No. 00004210-201707-1

酒井 立志 様

姫野921-18

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072 (消費税込み)

お支払い方法は、各販売店において適切に選択し、販売の記入欄に、販売店からの各種ご連絡、販売店販売等のご案内などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～？』
クレジットカード決済もおすすめ！

(有) 北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

担当.

領収印

北日本新聞

販賣部

報告者*

酒井立志

1586

事務用品、名刺

09_事務費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費
	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費

6月分フラッシュメモリー、8月分プリンターインクリボン、9月分名刺代

8月分 プリンターインクリボン	1458	2,916円 按分2分の1 (株)ヤマダ電機、／
6月分 フラッシュメモリ	448	896円 按分2分の1 (株)ヤマダ電機、／
9月分 名刺代	2160	5,400円の40% (株)ヒヅメ ／
	4066	

《領収書貼付枠》（原則、領収書を横し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）

收受 平成 29 年 10 月 12 日
 決裁 平成 29 年 10 月 18 日
 処理 平成 29 年 10 月 18 日



株式会社 **ヤマダ電機**
本部 群馬県高崎市栄町1-1
<http://www.yamada-denkiweb.com>

TLグリーンモール中曾根店
0766-30-2535
ご来店誠にありがとうございます
携帯de安心会員募集中!

領収又は書

No.1256-404-000564 [現金売]

2017/06/06 20:49

レジ担当: [REDACTED]
販売担当: [REDACTED]

5244610015 MFHTU3A08GWH	8GB	¥830
フラッシュメモリ 1:持帰 外08		¥830
小計		¥896
+消費税		¥896
税込計		¥896
内消費税		¥66
現金額		¥1,000
お釣り		¥104



B1256404000564B

品種詳細
付りの取扱説明書
税額表示
お問い合わせ
商品の返品について
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ
お問い合わせ

★出張修理受付ダイヤル★
0570-666-533
(9:00~21:00)

◆ YAMADA買取 ◆
◆ ファッションやゲームなど無料査定
◆ 不用なモノが現金やポイントに
詳しくは【ヤマダ買取】で検索!

【お問合せレシート番号】
1256-404-000564

※印刷面を内側に折って保管願います。

酒井立志 様
内訳
現金
¥2,916

¥2,916— (内消費税 ¥216)

但しインクリボン
上記の金額正に領收いたしました。

株式会社ヤマダ電機
群馬県高崎市栄町1-1

領収書

管理No. 1256-403-0000218
伝票No. 1256-403-008755

発行日: 2017年08月26日

税務署承認済
印鑑登録済



B1256403008755B
4191991017 UXNRSGW 1:持帰 外08 10
インクリボン ￥2,700

TLグリーンモール中曾根店

No. _____

領 収 証

酒井 立志 様

★ ￥5,400 -

但 矢刺 2箱

H29年9月26日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

和洋諸紙・事務機器・スチール製品
等一式・包装資材

株式会社 ハウジング

代表取締役 川口直次

〒933-0804 富山県高岡市開塩町53-2
TEL (0766) 24-7853 FAX (0766) 24-7656



富山県議会議員

酒 井 立 志

〒933-0804
富山県高岡市姫野九二二番地一八
TEL (0766) 82-12510
FAX (0766) 82-12510



請求書 29年9月26日

No. _____

酒井立志様

下記のとおり御請求申し上げます

和洋諸紙・複数機器・ステンレス製品
結婚式一日・会議室等

株式会社 桜川直次
代表取締役 桜川直次
〒933-0804 富山県高岡市野町52-2
TEL (0766) 24-7853 FAX (0766) 24-7636

品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	摘要
1 久刺印刷 片面4色	2箱	2500	5000	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
合計			5000	
税率	8%	消費税額等	400	税込合計金額 75400-

コクヨ ウ-333

納品書 29年9月26日

No. _____

酒井立志様

下記のとおり納品いたしました

和洋諸紙・複数機器・ステンレス製品
結婚式一日・会議室等

株式会社 桜川直次
代表取締役 桜川直次
〒933-0804 富山県高岡市野町52-2
TEL (0766) 24-7853 FAX (0766) 24-7636

品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	摘要
1 久刺印刷 片面4色	2箱	2500	5000	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
合計			5000	
税率	8%	消費税額等	400	税込合計金額 75400-

コクヨ ウ-333

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年12月5日

報告者*

酒井立志

管理番号	Z106	事業概要	議会撮影写真（H29年9月議会）
区分項目	03_広聴広報費 06_資料作成費	01_調査研究費 02_研修費 06_資料購入費 07_事務所費	03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 08_事務費 09_事務費 10_人件費
内訳	議会撮影写真（H29年9月議会）		
上記	議会撮影写真（H29年9月議会）	金額(円)	備考
したが	議会撮影写真（H29年9月議会）	12,960	
合計	（計）	12960	

《領収書貼付枠》（原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）

收受 平成29年12月7日
 決裁 平成29年12月11日
 処理 平成29年12月11日

領收証

No. 00000173

2017年9月21日

酒井 立志 様

金額

¥12,960-

内

¥960-

消費税等

但 平成29年9月定例会本会議一般質問撮影

上記正に領収いたしました

現金

-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----
-----	-----	-----

930-0835 富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス

TEL 076-451-7413 FAX 076-451-7418

係

請求明細書

富山県議会

2017年09月15日

締切分 No.

00000163

PAGE 1 / 1

酒井 立志 様

930-0835 富山市上富居 2 丁目 19-3

フォトニクス

TEL 076-451-7413 FAX 076-451-7418

お客様コード (621)

北陸銀行 越前町支店

普通 4164400 フォトニクス 横井弘幸

下記の通り御請求申し上げます

前回御請求額	御入金額	繰越金額	今回御買上額	消費税	源泉徴収税額	今回御請求額
	0	0	12,960	960		12,960

日付 / 伝票番号	商品コード / 商品名	数量	単位	単価	金額
2017/09/14 00000162	001 本会議一般質問撮影	1	件	12,000	12,000
	平成29年9月定例会				
	外消費税				960
	小計				12,960
	【税抜御買上額】				12,000
	【消費税額】				960

納品書

No. 00000162

売上日 2017年09月14日

PAGE 1 / 1

富山県議会

930-0835 富山市上富居 2 丁目 19-3

酒井 立志 様

TEL 076-451-7413 FAX 076-451-7418

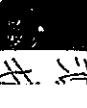
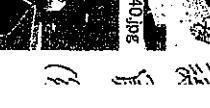
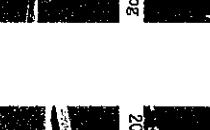
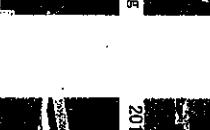
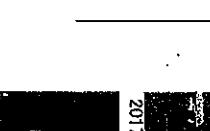
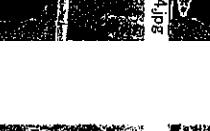
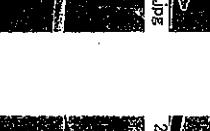
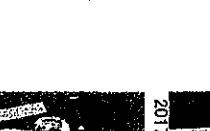
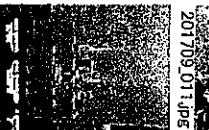
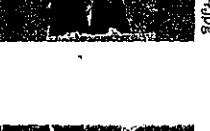
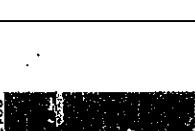
(621)

フォトニクス

北陸銀行 越前町支店

普通 4164400 フォトニクス 横井弘幸

商品コード / 商品名	数量	単位	単価	金額	備考
001 本会議一般質問撮影	1	件	12,000	12,000	
平成29年9月定例会					
税抜額	12,000	消費税額	960	合計	12,960



政務活動費対象事業実績報告書

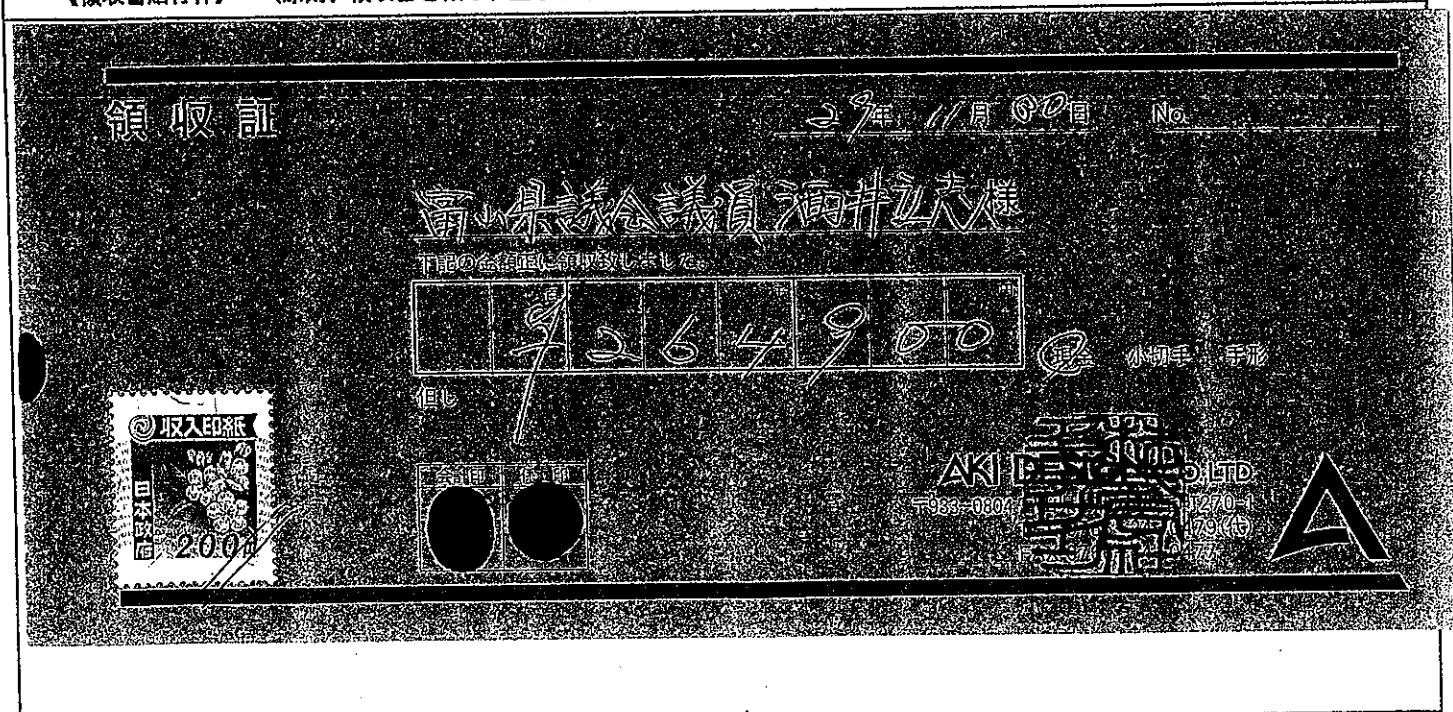
報告日* 平成29年12月5日

報告者*

酒井立志

管理番号	2107	事業種別	県政報告書作成			
区分項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費				
内容	酒井立志 県政報告書 スクラム 4 発行者:自由民主党富山県議会議員会 酒井立志					
	金額(円)					
酒井立志県政報告書作成	264,900					
合計	264900					

《領収書貼付枠》（原則、領収書を貼り、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）



受取 平成29年12月7日
 決裁 平成29年12月11日
 処理 平成29年12月11日

酒井立志

さかいたつし

県政報告書

西日本都市圏の形成



環日本海の中核地点へ

ごあいさつ

するためには、本県野球のさらなる競技力強化が必要であり、山中アドバイザーからは、高校野球だけでなく、中学、社会人を含めた富山県全体の選手のレベルアップを図ること、全国に通用するためには、投手力、打撃力のレベルアップが必要などの助言をいたしました。

こうした助言も踏まえ、中学校野球部を対象に、県外遠征校を招いた強化招待試合の開催や、指導者に対する投手力、攻撃力向上に関する指導方法についての研修会の開催を取り組んでいます。

A.「渋谷教育見聞」

Q.甲子園球場や明治神宮野球場での全国大会を見据え、土と天然芝の県営球場や人工芝のアルペンスタジアムなど、大会ごとに使用する球場を工夫すべきでは。

A.「渋谷教育見聞」

現在、県外には33の野球場があるが、そのうち人工芝の球場はアルペンスタジアムだけであり、ボーリーバーク高岡や県営富山市民球場など33の球場は天然芝となっています。

夏の甲子園大会の県内予選では、一回戦から準々決勝まで天然芝の球場で開催され、決勝と準決勝の試合は、人工芝のアルペンスタジアムで行われている。

決勝と準決勝の使用球場については、県高野連が監督、選手を対象に「夏の大会の決勝をどこで実施したいか」というアンケート結果に基づき、8割を超える選手等が、「アルペンスタジアムで行きたい」とのことであるので、ご理解願いたい。

全国大会を見据えて、県大会の使用球場を工夫するご提案については、高野連に伝え、県大会の球場選定について工夫できないか、協議していきたい。

酒井立志 プロフィール

昭和30年	新潟市生まれ
昭和33年	中央大学総合学部卒業
昭和55年	高岡市姫野へ転居
平成17年	高岡市議会議員
平成19年	高岡市議会経済消防常任委員会委員長
平成21年	高岡市議会防震整備委員会委員長
平成23年	高岡市議会決算特別委員会委員長
平成24年	高岡市議会副議長
平成25年	高岡市議会議員
平成26年	自民党高岡市連地区会長
平成28年	富山県議会議員

滋賀・岡体區	伏木海陸運送株式会社企画室次長
	伏木海陸運送株式会社企画室監督
	日本野球連盟会議室監理事
	高岡野球協会副会長
	新潟県野球部OB会長
	牧野野球下地区振興促進協議会顧問
	庄川岸壁水害予防組合議会議員
	高岡市保育会議員

議 会 教育啓発委員会委員
統合交通政策特別委員会委員

Q.国の有識者会議において、未就学児の里親委託率を75%とする新たな目標を示しているが、里親委託や養子縁組の更なる推進に向けて、所を見をう。

A.「前田厚生部長」

平成28年の児童福祉法改正では、実の親による養育が困難な場合の特別養子縁組や里親による養育等を推進することが明確化され、「新しい社会的養育ビジョン」を8月2日に取りまとめた。本県の里親委託率は、平成17年度末には6.5%、平成22年度末には9.1%、平成27年度末には20.0%と着実に伸びてきており、全国平均の7.5%を上回っている。

里親委託は、委託する子どもの年齢や状態を考慮し、また、里親についても、年齢やこれまでの愛託経験、家族の状況などを考慮し、丁寧にマッチングを行う必要がある。

このことから、里親の新規開拓や里親制度に関するリーフレットの作成などを引き続き行うとともに、里親と児童相談所の連携を一層緊密化させ、里親委託率の向上に努めたいと思います。

Q.高校野球について、里親が甲子園球場で活躍し、悲願の「優勝」を実現するために競技力強化など、どのように進めしていくのか。

A.「酒井知事」

県では、県民の注目度や关心度が高い「高校野球」「サッカー」「駅伝」の重点強化を進めており、指揮の「高校野球」については、平成23年度に富山県野球協議会を設立し、「5年を目途に甲子園大会ベスト8以上」を目指して、対象とした一貫指導体制のもと、小中高の指導者を対象としたシンポジウムの開催や、中学校への巡回指導、強化合同練習会の開催などを実施している。また、山中正竹氏をアドバイザーに委嘱し、指導者研修会等の場で直接指導をいたく機会を設けてきた。さらには智勝学園や東洋大相模高校を招いての強化招待試合を開催し、選手達と監督が高い目的意識を共有するとともに、ピッチの場面でも動じない精神力や堅実な守備力、集中力を生む打球力などの技術面の指導に取り組んできた。

こうした取り組みもあって、夏の全国高等学校野球選手権大会では、平成25年に富山第一高校がベスト8入りを果たし、3年目にして所轄の目標を達成したところである。高校野球が活躍

Q.国の有識者会議において、未就学児の里親委託率を75%とする新たな目標を示しているが、里親委託や養子縁組の更なる推進に向けて、所を見をう。

A.「前田厚生部長」

平成28年の児童福祉法改正では、実の親による養育が困難な場合の特別養子縁組や里親による養育等を推進することが明確化され、「新しい社会的養育ビジョン」を8月2日に取りまとめた。本県の里親委託率は、平成17年度末には6.5%、平成22年度末には9.1%、平成27年度末には20.0%と着実に伸びてきており、全国平均の7.5%を上回っている。

里親委託は、委託する子どもの年齢や状態を考慮し、また、里親についても、年齢やこれまでの愛託経験、家族の状況などを考慮し、丁寧にマッチングを行う必要がある。

このことから、里親の新規開拓や里親制度に関するリーフレットの作成などを引き続き行うとともに、里親と児童相談所の連携を一層緊密化させ、里親委託率の向上に努めたいと思います。

Q.高校野球について、里親が甲子園球場で活躍し、悲願の「優勝」を実現するために競技力強化など、どのように進めていくのか。

A.「酒井知事」

県では、県民の注目度や关心度が高い「高校野球」「サッカー」「駅伝」の重点強化を進めており、指揮の「高校野球」については、平成23年度に富山県野球協議会を設立し、「5年を目

途に甲子園大会ベスト8以上」を目指して、対象とした一貫指導体制のもと、小中高の指導者を対象としたシンポジウムの開催や、中学校への巡回指導、強化合同練習会の開催などを実施している。また、山中正竹氏をアドバイザーに委嘱し、指導者研修会等の場で直接指導をいたく機会を設けてきた。さらには智勝学園や東洋大相模高校を招いての強化招待試合を開催し、選手達と監督が高い目的意識を共有するとともに、ピッチの場面でも動じない精神力や堅実な守備力、集中力を生む打球力などの技術面の指導に取り組んできた。

こうした取り組みもあって、夏の全国高等学校野球選手権大会では、平成25年に富山第一高校がベスト8入りを果たし、3年目にして所轄の目標を達成したところである。高校野球が活躍

酒井立志事務所
住所：高岡市姫野町921-18 TEL・FAX:0766-82-2510
E-mail: [REDACTED]
<http://www4.canet.ne.jp/>

最終27日は、森林整備財源に充てる新税「森林環境税(仮称)」の創設を国に求める意見書や2017年度9月補正予算案など26議案を可決し閉会しました。

森林環境税の意見書は国や政府が導入を検討している中で「市町村との役割分担を明確にしあうで都道府県に対する税財源の確保について適切な措置を講ずること」を求めていました。他には、「道路整備予算の経費削減と道路財形法による補助率がさしがけ措置の継続」や介護從事者への勤務環境と処置改善の実現、「食品衛生管理の国際標準化を求める意見書なども可決しました。

一般会計の補正予算は、101億9,056万円(累計5,575億3,244万円)となりました。県立大新橋でのハイレベルな医薬品開発に向けた高精度温度・湿度管理システム導入費等が盛り込まれました。

日韓首脳会談で地域間成果文書に盛り込まれたことも

9月県議会予算特別委員会質問

平成22年
9月14日

会定期例会における私の質問は、①本県ヒロシア沿岸地方の経済友好関係の現状と今後の取り組みについて、
②本県において急増した児童虐待の原因やその対応の推進策について、③スポーツ行政、特に県勢高校野球
「全国ベスト4」を目指しての強化策と方針等について質問しました。以下、当局答弁の内容を逐一記載します。

1 ロシア沿岸友好関係の実績について(第1回)

Q.今回の訪問により、ウラジオストクを起点とするシリアル・ランド・ブリッジの迅速化・効率化についても前進があったが、今後の展開を問う。

A.[佐藤商工労働部長]

Q.7月の富山県・ロシア沿岸地方友好記念会議25周年記念

富山県友好訪問団等の派遣について、その成果を問う。

シベリア鉄道を利用した伏木富山港からモスクワまでの貨物輸送日数についてFESCOアジム支社長から知事に体制が整い、今後は14日間で運ぶことにすると宣言があつた。

ロシア東航路は、横浜、名古屋や神戸等に寄港後、伏木富山港からウラジオストクに向かう。

同時に、経済・物流及び観光の各訪問団のほか、酒井謙真を含め12名の県議も参加された日露友好好説員連盟訪露団もウラジオストクを訪問され、それぞれの分野の交流を深められたところである。主な成果は4つ挙げられる。第1には、新協定書の締結である。沿岸地方のミクリシフスキヤー知事との間で、日本とロシアの国レベルでの交流促進とともに、新たな協定書を締結した。この新協定書については、9月7日にウラジオストクまで行われた日露首脳会談において、日露間の地域間交流の成果として取り上げられたところである。

第2には、FESCO支社長等との会談において、シベリア鉄道を利用して、伏木富山港からの貨物をウラジオストク経由でモスクワまで14日間で運ぶことが言明されたことである。

シベリア鉄道の定期性・迅速性の確保・向上について、2010年の日露知事会議以来、ようやく体制の整備充実が図られたと考えている。

A.[加藤水本部長]

Q.ロシア定期航路には、貨物の所在が常に把握できることが望ましい。9月補正予算案に、コンテナ物流情報サービスを伏木富山港におけるコンテナ船の入港予定期刻、荷役開始の予定期等の情報を付けて、2010年の日露知事会議以来、ようやく体制の整備充実が図られたと

参考している。

第3には、「とても文化(DAYS)」の開催である。「ロシアにおける日本年」の認定事業としてロシアで最初に開催されたこのイベントでは、伝統工芸品の展示・製作実演や、富山の觀光地等の紹介を通して、富山県の魅力をロシアの方々に広く発信することことができた。

第4には、これまで富山県に馴染みを持ったロシア人の方を会員とする「沿岸地方とやま友の会」の設立である。

富山県の高齢化をして幅広い交流を支援いただけるものと期待している。

富山県では現在、ロシアの物流情報システムとコンソーシアムに向けた協議が行われており、ウラジオストク商業港との間で締結した協定書においても、「コンテナ物流情報システム」を盛り込んでおり、「育児支援センター」の連携に努めることを盛り込んでおり、その早期の接続に期待している。

富山新港多目的国際ターミナル

Q.伏木富山港のポートセールスについて、名古屋市で利用促進セミナーの開催など新たな動きもあるが、その成果は。

A.[五島商工労働部長]

太平洋側災害時のみ、日本海側で代替機能をはめたBCPの観点から、名古屋港の代替港として、伏木富山港の活用を検討してもらつたが、初めて名古屋市において利用促進セミナーを開催した。

国内物流面でのアビールポイントとしては、地震や津波、台風が少なく、安全・安心な立地環境にあることや、県の単独事業として実際の輸送時間やコスト等を検証するための指揮制度を設けている旨の説明を行っている。また、ロシア向けの輸出面でのアピールとしては、日本で最も輸送日数が短く利便性が高いことや、シベリア鉄道を利用する荷主企業に対して、特別の補助制度を設けていることをPRしている。

この取り組みの結果、輸出入に利用する港を伏木富山港に切り替えた荷主も見れており、今回の名古屋セミナーを受けて、今月、伏木富山港で開催した現地視察会に、愛知県の企業3社から5名が参加し、県内港湾運送事業者と個別の商談が行われたところである。

2 児童虐待について

Q.平成28年度の児童虐待件数は、前年度から約1.8倍と急増しているが、どのように分析しているのか、問う。

A.[前田厚生部長]

児童虐待相談件数については、平成28年度は629件と平成27年度の358件に比し約1.8倍に増加している。主要な因としては、警察から児童相談所への通告が増加していること、市町村と児童相談所との間の情報提供や照会の実施方法を取り締めしたこと、心理的虐待を受けているものも含め、警察での児童虐待への対応がより一層強化されできたこと、県民の児童虐待に対する意識の高まりなどにより、個別事案の課題整理や対応方針を検討する会議等に児童相談所職員が参加する件数も増えたことなど、警察や児童相談所が情報共有して連携する対応が進んだことが大きいと考えられる。

A.[石井知事]

平成27年度にスタートした「子ども・子育て新制度」において、「地域子育て支援拠点事業」については、すべての市町村で実施され、地域における子育て支援の充実が図られている。また、既に9市町において、妊娠・出産・育児期の多様な支援ニーズに 맞서サポートなどを実施している。

Q.児童虐待増加の主な要因として、心理的虐待の急増が挙げられるが、DV対策にどのように取り組んでいくのか。

A.[山本総合政策局長]

面前DVなどを早期に発見し、適切・迅速に対応するため、民生委員・児童委員にDVの早期発見や、発見した場合の相談機関へのつなぎをお願いしているほか、今年度新たに、診察を通じてDV被害者を発見することが多い医療関係者を対象とした研修会の実施や、教育関係者を対象とした、面前DVが疑われる得意・生徒の心のケアなどについてのマニュアルの作成・配付を行つた。

Q.親への教育も推進すべきと考えるが、「とやま留学ひ推進事業」など、どのように進めしていくのか。

A.[浅谷教育長]

近年、児童虐待の増加が深刻な問題となつてゐるが、その要因の一つに、親の育児に対する不安やストレスが強いことが挙げられている。県教育委員会では、PTAや企業と連携して開催している親学ひ講座の中で、児童虐待防止について、参加者が自分の体験などを語り合いつらいその中で自ら答えを考えていくプロセラムに取り組んでいたいでいる。

この親学ひ講座は、昨年度、全公立小中学校で実施され、約3万5千人の保護者の皆さんに参加いたしております。昨年度からは、講座の対象を乳幼児期の親に拡大している。

生の心のケア研究会

Q.親児不安心からの虐待を防止するためにも、「地域子ども・子育て支援事業」や産後うつ対策など、どのように推進していくのか。

A.[石井知事]

平成27年度が位置づけられているが、「別荘型全戸訪問事業」や「地域子育て支援拠点事業」については、すべての市町村で実施され、地域における子育て支援の充実が図られている。また、既に9市町において、妊娠・出産・育児期の多様な支援ニーズに 맞서サポート等に対する相談支援センター」が設置され、子育てに関する不安や悩みに対する相談支援、母子に対する心のケアや育児のサポートなどが行われている。

さらに産後うつに対し予防対策に向けて、リスク要因の調査・分析と普及啓発を行うため、所要経費を9月補正予算に計上している。

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成29年12月5日

報告者* 酒井立志

整理番号*	2108	事業概要*	新聞購入	
使途項目*	07_資料購入費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費		
内容				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考	
	北日本新聞	6,144	9~10月分	北日本新聞加藤販売店
	富山新聞	6,144	9~10月分	富山新聞販売新湊センター
	《合 計》*	12,288		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



收受 平成29年12月7日
 決裁 平成29年12月11日
 処理 平成29年12月11日

2017年10月分 領 収 証 発証No 00004210-201710-1

酒井 立志 様

姫野921-18

銘柄	部数	金額	合計金額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)

お客様の個人情報は、当販売所において厳密に管理し、各間の配送・資金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

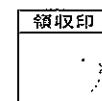
『口座振替しようかな…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

(有)北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収



担当: [REDACTED]

領收証

17年 09月分

年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売(株)

新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487



購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

領收証

17年 10月分

年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売(株)

新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487



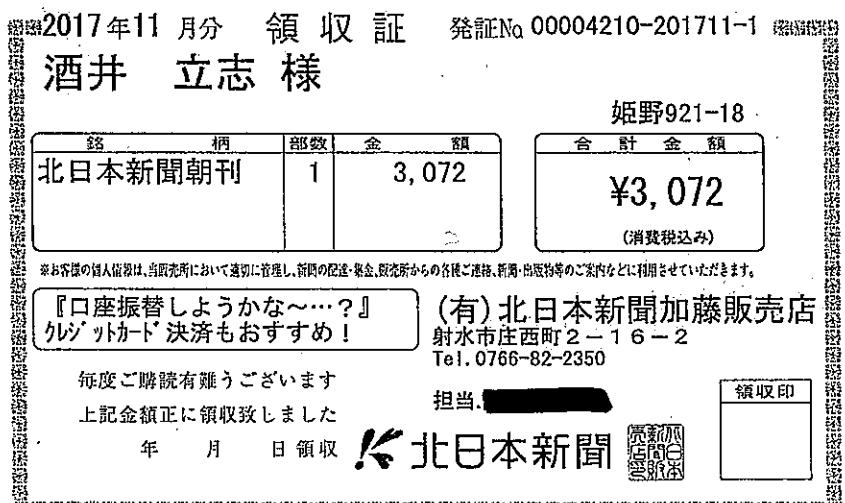
購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成30年1月9日

報告者* 酒井立志

監理番号	2017	事業概要	北日本新聞、富山新聞		
用途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費			
内容	11月分新聞購読				
上記事業にかかる領収書	経費の内容	金額(円)	備考等		
	11月分北日本新聞代	3,072	北日本新聞加藤販売店		
	11月分富山新聞代	3,072	富山新聞販売新湊センター		
《合計》	6144				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					



收受 平成30年1月9日
 決裁 平成30年1月12日
 処理 平成30年1月12日

領收証

17年 11月分 年 月 日 No 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売（株）

新湊センター

射水市本町2丁目11-22

TEL (0766) 82-4127

FAX (0766) 82-4487

集金担当

購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成30年1月9日

報告者*

酒井立志

整理番号	2320	事業概要	名刺作成	
用途項目	09_事務費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費		
内容	名刺代			
上記書類に記載した経費	経費の内容	金額(円)	備考等	
	名刺代 29年11月16日購入分	2,160	株式会社ヒツメ 5400円 * 40%	
	《合計》	2160		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

收受 平成30年1月9日
 決裁 平成30年1月12日
 処理 平成30年1月12日

領 収 書

29年 11月 16日

酒井立志 様

金額	¥5400
----	-------

但し 名刺印刷代

上記金額正に領収いたしました

内 訳

現 金	✓
小 切 手	
手 形	
消費税額	(合)五

和洋諸紙・事務機器・スチール製品・包装資材

株式会社 ヒツヅ

代表取締役 植原直次

本

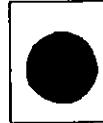
高岡市高岡町53番の2

TEL (0766) 24-7853 代

FAX (0766) 24-7656

結納品小売部 高岡市片原中島町158
和紙アートギャラリー TEL/FAX (0766) 25-3065

收 入
印 紙



酒

井

立

志

富山県議会議員



〒930-031 富山県高岡市姫野九二一一番地一八
TEL・FAX (0766) 82-12510

請求書 29年11月16日

No. _____

酒井立志 様

下記のとおり御請求申し上げます

和洋諸紙・事務機器・スチール製品
結納品一式・包装資材

株式会社 ハツメ

代表取締役 楠爪直次

〒933-0804 富山県高岡市間屋町53-2
TEL (0766) 24-7853 FAX (0766) 24-7855

品名	数量	単価	金額(税抜)	摘要
1 名刺印刷 片面4色	2箱	2,500	5000	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
合計				
	税率	8%	消費税額等	400
			税込合計金額	¥ 5,400-

コクヨ ウ-333

1箱 100枚

納品書 29年11月16日

No. _____

酒井立志 様

下記のとおり納品いたしました

和洋諸紙・事務機器・スチール製品
結納品一式・包装資材

株式会社 ハツメ

代表取締役 楠爪直次

〒933-0804 富山県高岡市間屋町53-2
TEL (0766) 24-7853 FAX (0766) 24-7855

品名	数量	単価	金額(税抜)	摘要
1 名刺印刷 片面4色	2箱	2,500	5000	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
合計				
	税率	8%	消費税額等	400
			税込合計金額	¥ 5,400-

コクヨ ウ-333

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成30年2月13日

報告者*

酒井立志

263D	議会写真撮影
03_広聴広報費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費
12月定例会予算特別委員会撮影写真	
12月定例会予算特別委員会撮影写真	12,960
合計	12960

《領収書貼付》

紙に整理すること。)

領 収 証

No. _____
H29年12月12日

酒井 立志 様

Y 12,960

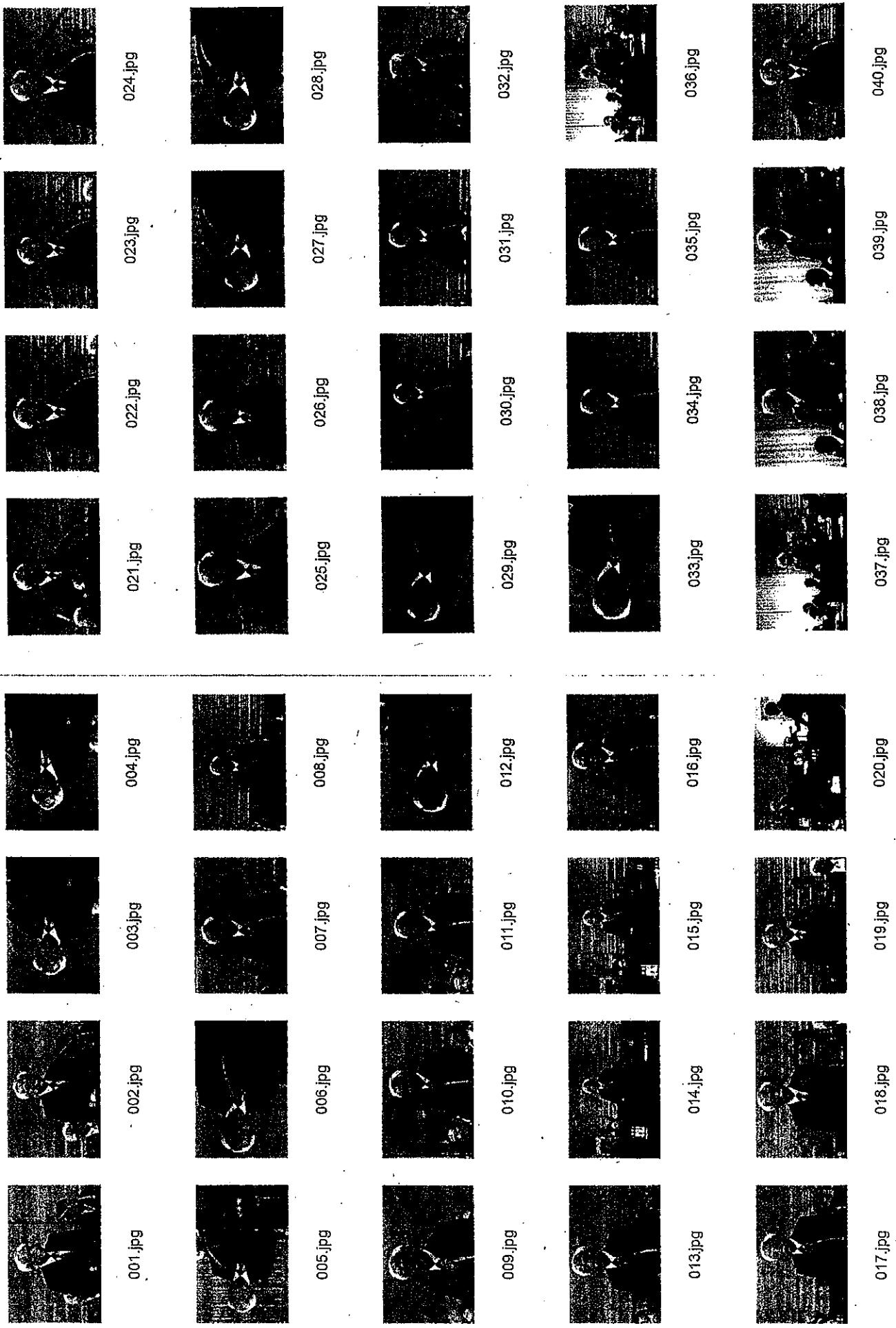
但 議会報告用写真

上記正に領収いたしました

内 訳 _____
 現 金 _____
 小 切 手 _____
 手 形 _____
 消 費 額 (%) _____

しらすみ写真
富山市東日本町2-16-35
〒931-8512 FAX 076-438-3326

收受 平成30年2月13日
 決裁 平成30年2月15日
 処理 平成30年2月15日





041.jpg



042.jpg



043.jpg



044.jpg



045.jpg



046.jpg



047.jpg



048.jpg



0049.jpg



0050.jpg



0051.jpg



0052.jpg



0053.jpg



0054.jpg



0055.jpg



0056.jpg



0057.jpg



0058.jpg



0059.jpg



0060.jpg

政務活動費対象事業実績報告書

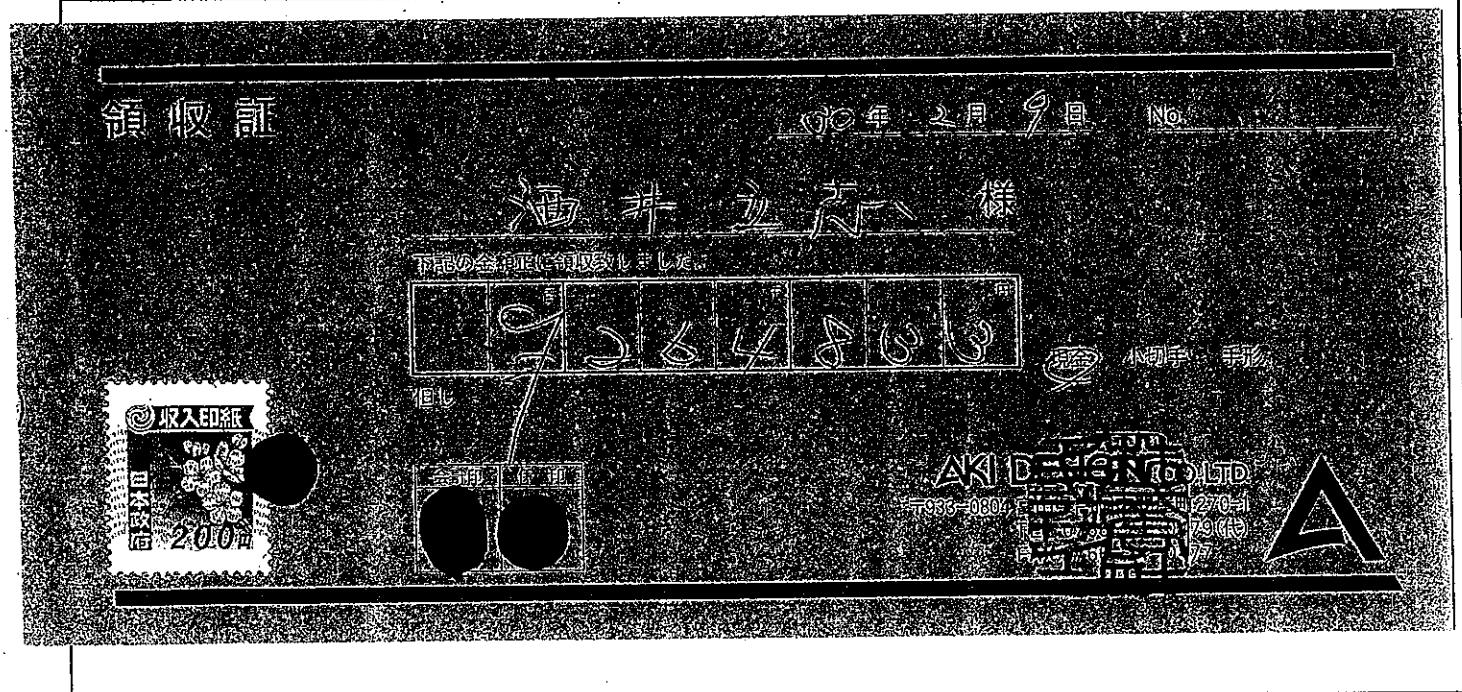
報告日* 平成30年2月13日

報告者*

酒井立志

2631	県政報告書作成、配布
03_広聴広報費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費
酒井立志 県政報告書 スクラム5 発行者:自由民主党富山県議会議員会 酒井立志	
酒井立志県政報告書	金額(円)
	264,833
合計	264833

《領収書貼付枠》（原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）



收受 平成30年2月13日
 決裁 平成30年2月15日
 処理 平成30年2月15日

納品書

富山県議会議員
酒井 立志 様

代表取締役 酒井 秀樹

〒933-0804 富山県高岡市問屋町270-1

TEL 0766 24-0479

FAX 0766 24-0477

平成 30年 2月 5日

毎度ご利用頂きましてありがとうございます。
 下記の通り納品いたしましたので、
 よろしくお願いいたします。

日付	受注番号	品名	数量	単価	合計額	備考
	Z30-003	酒井立志 県政報告書Vol.5作成			-	
		原稿作成	一式		28,000	
		デザイン・版下 A4	4	14,000	56,000	
		制作管理費			4,200	
		印刷 A4 4ページ 4色 紙 コート90kg	13,000	6.55	85,150	
		新聞折込み代(B3までの料金) 11月25日(土)折込み			-	
		北日本新聞 @6.20 9,680部	9,680	6.20	60,016	
		富山新聞 @5.00 2,370部	2,370	5.00	11,850	
		計 12,050部			-	
		手配り、予備分 950部			-	
					-	
		内訳			-	
		北日本新聞			-	
		高岡市 野村、能町、牧野、成美 8,680部 旧新湊市 1,000部			-	
					-	
		富山新聞			-	
		高岡市 野村、能町、牧野、成美 1,970部 旧新湊市 400部			-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
					-	
※消費税は請求書にて加算させていただきます。					合計	245,216

メモ

担当者

酒井立志とやま中核都市圏の形成をかいたつし見取報告書

Q. 県外からの移住の促進について、今後どのような方針で臨んでいくのか。

A.【石井知事】

県では、「富山県空き家対策官民連絡協議会」において、各市町村の空き家の定義や実態調査の取り組みなど情報共有に取り組んできた。

Q. 空き家対策特別指置法についてどのように取り組んでいるのか、問う。

A.【加藤土木部長】

県では、平成26年2月に作成した県独自の「空き家の除却等に関するガイドライン」の掲示や、国の交付金事業である空き家再生等推進事業、空き家対策総合支援事業の採択に向けた助言・協力を行っているほか、所有者等が不明なため行政代執行により特定空き家を除却する場合の県単独による支援、空き家の管理・利活用に係る合意形成を図る取り組みへの支援などにも努めてきた。引き続き市町村に対する空き家対策への助言や連絡調整など積極的に取り組んできたい。

Q. 商店街空き店舗出店モデル事業について、今後どのように進めていくのか、問う。

A.【佐藤商工労働部長】

平成28年度に、商店街の空き店舗を活用し、住民生活に必要な業種の出店に対してモデル的に支援する「商店街空き店舗出店モデル事業」を創設したが、現段階で現状がない状況である。要因として補助要件が、対象業種を生鮮食料品や日用雑貨店など住民生活中に必要な業種に限定しているためではないかと考えており、次年度に向けて、支援のあり方を検討したい。

昨年度から、「新しいまちづくり」を学ぶセミナーを開催したところ、若い世代が多数参加している。12月上旬には県内初の「リノベーションスクール@高岡」が開催された。本年4月には、空き店舗を活用したシェアオフィスが開設され、異業種交流の拠点となっている。

このため、若者や女性など新たな「まちづくり」の担い手の育成と併せて、商店街を含むまちなかに、商業・サービス機能だけでなく、文化や福祉、業務機能など多様な機能の集約を図り、まちの魅力やわいの創出に積極的に取り組んでいきたい。

酒井立志事務所
住所:高岡市蛭野921-18 TEL・FAX:0766-82-2510
E-mail: <https://sakai-103714.amebaown.com/>

酒井立志とやま中核都市圏の形成



環日本海の中核拠点へ

ごあいさつ

県立高校の後期再編に際し、学識経験者らでつくる県立高校教育振興会議で対象校や実施時期の検討を進めました上で、対象校の跡地利用について「地方創世の観点などを踏査し、地元の市町村の意向を十分考慮しながら、検討・協議を進める」と述べました。

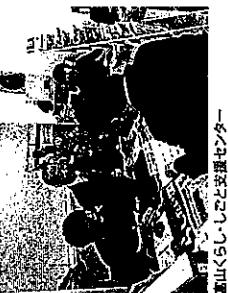
交通分野では、北陸新幹線の大版延伸を2030年度末の北海道新幹線札幌開業までに実現できるよう沿線各県と協力するしました。また、12月に「高岡やぶみな駅」の駅舎の竣工が行われることも報告されました。

来年度予算の編成方針では「やまと未来創生戦略推進を堅持し、来るべき策定を目指す新総合計画に沿った

「新総合計画推進会議」を創設するとし、「県民が未来に向けて夢や希望を持ち、いきいきと働き暮らせる、元気な県づくりを積極的に推進する予算となるよう努める」と述べました。編成に向け国に対して、一般財源総額の十分の確保や「まちひと・しごと創生事業費」の継続、拡充を働き掛けるとし、新設される地方大学・地域産業創生交付金(仮称)についても「支授対象に富山の取り組みが選活化に努めてまいります。

Q. 商店街空き店舗受入モデル地域について、問う。

A.【市町村と連携して進めていたいた。「移住者受入モデル地域」については、市町村と連携して進めていたいた。



富山くらし・しこと支援センター

県議会11月定期会は、27日開会し、12月13日に閉会しました。石井知事は、提案理由説明で県内の経済状況について「緩やかな回復基調が続いている」ととの認識を示した上で、「国の補正予算を積極的に活用するとともに、県独自の取り組みも進め、経済の活性化、雇用創出方に力を尽くす」と述べました。

来年度予算の編成方針では「やまと未来創生戦略推進会議」を堅持し、来るべき策定を目指す新総合計画に沿った「新総合計画推進会議」を創設するとし、「県民が未来に向けて夢や希望を持ち、いきいきと働き暮らせる、元気な県づくりを積極的に推進する予算となるよう努める」と述べました。編成に向け国に対して、一般財源総額の十分の確保や「まちひと・しごと創生事業費」の継続、拡充を働き掛けるとし、新設される地方大学・地域産業創生交付金(仮称)についても「支授対象に富山の取り組みが選ばれるよう最大限努力する」と強調しました。

議会	教育審議委員会委員
議会	総合交通対策特別委員会委員

昭和30年 新潟市生まれ
昭和53年 中央大学経営学部卒業
昭和55年 高岡市蛭野へ転籍
平成17年 高岡市議会 総務・経済消防常任委員会委員長
平成19年 高岡市議会 行財政委員会 委員長
平成21年 高岡市議会 法規特別委員会 委員長
平成23年 高岡市議会 別議員
平成24年 高岡市議会 通常委員会 委員長
平成25年 高岡市議会 委員長
平成26年 自民党高岡市連改選候補会員
平成28年 富山県議会議員

県議・団体議 佐木浩一選送係・経営企画室次長
佐木浩一選送係・経営企画室次長
日本野球・富山県野球連盟理事
高岡野球協会 副会長
新潟ローラーラグビークラブ
新潟県野球協会OB会長
牧野校下地区振興促進協議会顧問
庄川右岸水害予防組合議員
高岡市保育園議員

11月議会予算特別委員会質問

本例会において一番多い質問は県立高校の後期再編問題と新品牌「富士富山」に関する質問で、最も県民の注目を集めています。質問が最終的ため、他議員と重ならないよう面倒ながら、高岡市民病院の認知症疾患医療センター、道の駅雨晴周辺整備、地域防犯カメラや空き家対策等について質問しましたのでご一読願います。

1 福祉医療行政について



の開催など、地域との連携強化を行っている。今後とも、認知症施策に取り組んでいただきたい。

Q. 本県最大のイベント「なんりんピック」について
A. 前田厚生部長

2018年11月3日から6日に開催される「なんりんピック富山

2018年は、全国から約1万人の選手・役員が来県されることから「温かみ」のある大会となるよう、開催機運の醸成や県民参加の取組みを推進している。具体的には、公式ウェブサイト、ポスター、リーフレット、広報キャラバン隊によるPRや、知事や渡辺副議長出席の「開催1年前イベント」の中で、大会テーマソング、体操を初披露するなどを実施してきた。

さらに、2018年2月から学校や各種団体、企業にも呼びかけ、新幹線駅、空港での歓迎や式典・イベント補助等を行う大会ボランティアを募集するほか、「おもてなし声がけ運動」の啓発や、総合開会式会場等を華やかで彩る花いっぱい運動、小学校の児童等による健手団の応援活動等について取組みを進める。

また、全国の選手団が、富山の美味しい飲食、伝統芸能等を堪能できるよう、市町村連携、会場までの公共交通機運などの準備を進めていく。この大会が、心残るすばらしいものとなるよう、なんりんピック富山2018パラレット。

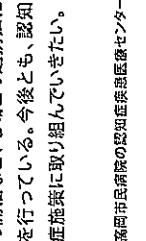
Q. 認知症疾患医療センターについて、県内4箇所のセンターとの連携や支援をどのように進めしていくのか、聞う。

A. 前田厚生部長

去る10月に高岡市民病院に認知症疾患医療センターが開設され、県内の4医療機関すべてにおいて認知症疾患に関する専門医療の体制が整った。これにより、高岡医療圏の患者の利便性が高まるとともに、地域の認知症初期集中支援チームや認知症サポート医、かかりつけ医等との連携、さらには地域包括支援センターとのより緊密な連携が可能となつた。

県では、これまで、鑑別診断や専門医療相談への支援のほか、都市医師会などの保健医療関係者や介護保険関係者、行政等で組織する「認知症疾患医療連携協議会」の認知症に関する活動や、関係機関や地域住民等に向けた研修会に

2 道の駅ネットワーク化について



Q. 「道の駅雨晴」の整備と併せて整備している国道415号の拡幅整備について、東側の未整備区間の早期事業化を図るべきと考えるが、所を見を聞く。

A. 加藤土木部長

Q. 「道の駅雨晴」の整備と併せて整備している国道415号の拡幅整備について、東側の未整備区間の早期事業化を図るべきと考えるが、所を見を聞く。

A. 加藤土木部長

国道415号は、観光拠点や物流拠点の連携を図る「湾岸道路」であり、富山湾越しの雄大な立山連峰を望む絶景のルートとなっています。

このうち、雨晴交差点から東側の延長250mについては、交通量が多く、通常路にもかかわらず歩道がないことから、安全で円滑な交通を確保するため、歩道新設と無電柱化の工事を進めている。

これに隣接して「道の駅雨晴」を整備しており、平成30年春の供用を目指して、県と市が一体となって進めている。この区間に続く東側の延長200mについては、幅員が狭く歩道も中抜けで、道の駅オープナルームに伴う交通量の増加も想定されることから、整備の必要性は十分に認識している。しかし、道路幅員には用地買収や物件補償が必要なため、今後、この第2期区間の整備について検討していただきたい。

Q. 道の駅を観光資源として捉え、県外観光客等へのPRによる本県への誘客促進を図るべきでは。

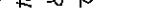
A. 関原観光・交通・地域振興局長

道の駅は、道路情報の提供と、休憩場所の確保が目的だが、観光案内所や物産館、レストラン等を併設した施設が多くなっており、重要な観光資源である。富山県には、現在14箇所の個性的で魅力ある道の駅があり、氷見番屋街など観光スポットとして認知されている施設も多い。

道の駅を活用して、県外からの誘客促進を図るために、県内市町村や民間との連携が必要です。

Q. 空き家対策等について

3 安全なまちづくりについて



Q. 今年の「自転車盗」、「車上ねらい」、「不審な声かけ・つきまとい事案」の認知件数や場所、被害者等の特徴はどういうふうに。

A. 白井警察本部長

Q. 今年の「自転車盗」、「車上ねらい」、「不審な声かけ・つきまとい事案」の認知件数や場所、被害者等の特徴はどういうふうに。

A. 白井警察本部長

県では、平成17年4月に安全なまちづくり条例を施行し、「地区安全なまちづくり推進センター」は、平成18年には10か所だったものが、今は206か所で設置されている。民間ハトロール隊は、以前は6,700人ほどだったのが、今は613隊約18,000人、青色回転灯装備車両(青バト)は知事就任時13台が、今は534台となるなど、地域の安全を守る輪が広がっている。

その結果、県内の犯罪発生件数は、15年連続で減少し、ピーク時の約4割に減少、17,660件から3,944件となっており、一方で、「自転車盗」や「車上ねらい」といった県民の身近で発生する犯罪は、全国的に減少している中、本県では増加しており、「不審な声かけ・つきまとい事案」も多い。「自転車盗」は、認知件数が818件と32件増加しており、発生場所は駅やその周辺の陸輪場、宿毛、商業施設で全体の約8割を占めている。被害者は高校生が323人と最も多く、児童・生徒等が全体の約6割を占めている。

「車上ねらい」については、認知件数が329件と45件増加しており、発生場所は住宅が141件と最も多く、次いで商業施設、道路の順となる。一方で、民間ハトロール隊の高齢化や固定化などの課題等を踏まえ、中学生・高校生を対象としたカギかけ防犯コンテスト、力ギけ防犯キャンペーンの実施、地区安全なまちづくり推進センターの活性化、民間ハトロール隊への支援、学生防犯ボランティア講座の開催等に、引き続き力を入れていきたい。

Q. 空き家対策等について

4 空き家対策等について



Q. 空き家を実態を把握するため、県がリーダーシップをとり、県内市町村や民間との連携が必要では。

A. 加藤土木部長

Q. 犯罪の抑止対策として、防犯カメラの設置効果をどのように捉え、今後設置普及にどう取り組むのか。

A. 白井警察本部長

Q. 犯罪の抑止対策として、防犯カメラの設置は、犯罪の抑止や事件・事故の早期解決に役立つものと考えている。設置が進められた富山駅や高岡駅周辺地域では、自転車盗が減少傾向で推移しているほか、近年、防犯カメラが設置された住宅地では、約8割近くの住宅侵入や車上ねらいなどの街頭犯罪の減少がみられる。

Q. 正確な空き家実態を把握するため、県がリーダーシップをとり、県内市町村や民間との連携が必要では。

A. 加藤土木部長

空き家対策の主体である市町村においては、その地域特性に応じた空き家等対策計画を策定し、流通促進や利活用、老朽空

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成30年2月13日

報告者*

酒井立志

2632

北日本新聞、富山新聞

07_資料購入費

01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費
 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費

12月分新聞購読

12月分北日本新聞代

3,072 北日本新聞加藤販売店

12月分富山新聞代

3,072 富山新聞販売新湊センター

6144

《領収書貼付枠》（原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）

收受 平成30年2月13日
 決裁 平成30年2月15日
 処理 平成30年2月15日

2017年12月分 領 収 証 発証No 00004210-201712-1
酒井 立志 様

姫野921-18

銘柄	部数	金額	合計金額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)

お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配送・料金・販売所からの各種ご連絡・新規・出店手続きのご案内などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

(有)北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます

担当 [REDACTED]

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印



領收証

17年 12月分 年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額 [REDACTED]

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売(株)

新湊センター
射水市本町2丁目11-22
TEL (0766) 82-4127
FAX (0766) 82-4487

集金担当



ご愛読に感謝いたします。新年を迎えるにあたり、皆様のご多幸をお祈り致します。

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成30年3月31日

報告者*

酒井立志

整理番号	3176	事業概要*	新聞購入
使途項目*	07_資料購入費 06_資料作成費	01_調査研究費 06_資料作成費 02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	北日本新聞	9,216	1~3月分 北日本新聞加藤販売店 /
	富山新聞	9,216	1~3月分 富山新聞販売新湊センター
	《合 計》*	18,432	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30 年 4 月 9 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 13 日

2018年1月分 領 収 証 発証No 00004210-201801-1
酒井 立志 様

銘柄	部数	金額	合計金額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)

お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配送・発送、販売所からの各種ご連絡、お問い合わせ等の窓口などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

(有) 北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます
上記金額正に領収致しました

担当. [REDACTED]

年 月 日 領 収

北日本新聞



領收印

2018年2月分 領 収 証 発証No 00004210-201802-1
酒井 立志 様

姫野921-18

銘柄	部数	金額	合計金額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)

お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配送・発送、販売所からの各種ご連絡、お問い合わせ等の窓口などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

(有) 北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます
上記金額正に領収致しました

担当. [REDACTED]

年 月 日 領 収

北日本新聞



領收印

2018年3月分 領 収 証 発証No 00004210-201803-1
酒井 立志 様

姫野921-18

銘柄	部数	金額	合計金額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)

お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配送・発送、販売所からの各種ご連絡、お問い合わせ等の窓口などに利用させていただきます。

『口座振替しようかな～…?』
クレジットカード決済もおすすめ!

(有) 北日本新聞加藤販売店
射水市庄西町2-16-2
Tel. 0766-82-2350

毎度ご購読有難うございます
上記金額正に領収致しました

担当. [REDACTED]

年 月 日 領 収

北日本新聞



領收印

領収証

18年 01月分 年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売（株）

新湊センター

射水市本町2丁目11-22

TEL (0766) 82-4127

FAX (0766) 82-4487

集金担当

今年もみなさまのご健康とご健勝をお祈り
申し上げます。雪害と体調管に、ご留意を。

領収証

18年 02月分 年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売（株）

新湊センター

射水市本町2丁目11-22

TEL (0766) 82-4127

FAX (0766) 82-4487

集金担当

1月から紙面を刷新し地域に密着した多彩な
連載をスタートさせ地元の話題を充実させます。

領収証

18年 03月分 年 月 日 No. 008380

お名前 酒井 立志 様

ご住所 姫野 921-18

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売（株）

新湊センター

射水市本町2丁目11-22

TEL (0766) 82-4127

FAX (0766) 82-4487

集金担当



「富山新聞 お友達紹介キャンペー」実施中。

報告者*

酒井立志

整理番号	3177	事業概要*	名刺代	
使途項目*	09_事務費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費		
内容				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考	
	名刺作成	2,160	5,400円の40%	
	《合 計》*	2,160		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

收受 平成 30 年 4 月 9 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 13 日

領收証

酒井立志 様

平成30年3月14日

2万5400-

但し 丸刷印刷(200枚)

上記金額正に領収いたしました

和洋諸紙・事務用品 結納品一式 OA事務機器

取入
印紙

株式会社 ヒヅメ

高岡市問屋町53-2

TEL 0766(24)7853(代)

FAX 0766(24)7656

結納品小売部 高岡市片原中島町158

TEL 0766(25)3065

FAX 0766(25)3065



富山県議会議員

酒井立志



二三三〇三三 富山県高岡市姫野九二一一番地一八
TEL・FAX (0766) 8112510

請求書 30年3月14日

No. _____

酒井立志様

下記のとおり御請求申し上げます

和洋装紙・事務機器・スチール製品
統合品一式・包装資材

株式会社

代表取締役 棚爪直次

〒933-0304 富山県高岡市問屋町53-2
TEL (0766) 24-7853 FAX(0766) 24-7856

品名	数量	単価	金額(税抜)	摘要
1. 名刺印刷 片面4色	2箱	2,500	5,000	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
合計				
	税率	8%	消費税等	税込合計金額
			400	¥5,400-

コクヨ ウ-333

納品書 30年3月14日

No. _____

酒井立志様

下記のとおり納品いたしました

和洋装紙・事務機器・スチール製品
統合品一式・包装資材

株式会社

代表取締役 棚爪直次

〒933-0304 富山県高岡市問屋町53-2
TEL (0766) 24-7853 FAX(0766) 24-7856

品名	数量	単価	金額(税抜)	摘要
1. 名刺印刷 片面4色	2箱	2,500	5,000	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
合計				
	税率	8%	消費税等	税込合計金額
			400	¥5,400-

コクヨ ウ-333

報告者* 酒井立志

整理番号	3233	領収項目	01_調査研究費 03_広聴広報費	02_研修費 04_要請陳情等活動費
活動 期間	平成30年3月 4日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	入学激励式参加 (内容) 平成29年度富山県自衛隊入隊・入校予定者激励会 (備考) 自宅～富山国際会議場	
場所	富山県国際会議場			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス				
タクシー				
航空機				
自家用車 @37 × 34km =	1258			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	1258	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を一枚、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年4月13日
 決裁 平成30年4月16日
 処理 平成30年4月16日

謹啓 嶄寒の候 ますます、清祥のことをお慶び申し上げます。
平素から我が国の防衛に対する深いご理解と、防衛省自衛隊に対し多大なるご協力を賜り、
衷心より厚く御礼申し上げます。
さて、この春も富山県から多くの若者が自衛隊員としての第一歩を踏み出すこととなりました。
つきましては、平成二十九年度富山県自衛隊入隊・入校予定者激励会を左記のとおり開催いたしますので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますが、ご臨席の上、入隊・入校予定者の激励並びに晴れの門出の祝福を賜りたく、ご案内申し上げます。

謹白

平成三十年一月吉日

自衛隊富山地方協力本部長
一等陸佐 山内克己

記

- 一 日 時 平成三十年三月四日（日）十三時〇〇分から十六時〇〇分まで
(開場及び受付開始は十一時三十分)
- 二 場 所 富山国際会議場大手町フォーラム 3階メインホール
〒930-0084 富山市大手町一番二号 (直〇七六一四二五九三一)
- 三 式次第 第一部 激励式 十三時〇〇分から十四時四十分
第二部 激励演奏 十五時〇〇分から十六時〇〇分
- 四 参加費 無料
- 五 交 通 JR富山駅から徒歩約十五分又は、市内電車セントラム国際会議場前下車
お車でご来場の方は、富山国際会議場地下駐車場、富山市営城址公園駐車場、
ユウタウン総曲輪ペーキング等のご利用が便利です。（いずれも有料）
- 六 そ の 他 当日は、3階メインホール前の「受付一番」にお越しください。
- 七 お問合せ 自衛隊富山地方協力本部募集課 (直〇七六一四四一三二七一)

※ ご出欠は、お手数ですが、同封の書類に記載により一月十六日（金）までにご返信ください。お願い申
し上げます。

報告者* 酒井立志

整理番号	323	使途項目	01_調査研究費 03_広聴広報費	02_研修費 04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年3月17日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	式典参加 (内容) 高岡やぶなみ駅開業記念式典 (備考) 自宅～高岡やぶなみ駅		
場所	高岡やぶなみ駅				
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス					
タクシー					
航空機					
自家用車 @37 × 22km =		814			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場			計	814	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

受取 平成30年4月13日
決裁 平成30年4月16日
処理 平成30年4月16日

高岡やぶなみ駅開業記念式典のご案内

謹啓 立春の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます

さて かねてより整備を進めてまいりました高岡やぶなみ駅がこのほど完成し
三月十七日に開業の運びとなりました

これもひとえに皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます

つきましては 左記により開業記念式典を挙行いたします

ご多用中とは存りますが 万障お繰り合わせのうえご来臨賜りますよう
ご案内申し上げます

平成三十年二月吉日

あいの風とやま鉄道株式会社

代表取締役社長

日 吉 敏 幸

高岡市長 高橋 正樹

敬具

記

高岡やぶなみ駅開業記念式典

一日 時 平成三十年三月十七日(土)

八時五十分から九時五十分(受付は八時十五分から)

一 会 場 高岡やぶなみ駅

一 服 装 平 服

※雨天の場合も予定通り執り行います

※お手数ですが全封のはがきにてご出欠を三月六日までに到着するようご返信
の程お願いいたします

報告者* 酒井立志

監理官	3235	使途項目	01_調査研究費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年3月 17日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	式典参加 (内容)自治体消防70周年記念富山県防火・防災推進大会 (備考)自宅～富山県民会館
場所	富山県民会館		
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス			
タクシー			
航空機			
自家用車 @37 × 34km =	1258		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	1258
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を繳し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年 4月 13日
 決裁 平成30年 4月 16日
 処理 平成30年 4月 16日

謹啓 初春の候、貴台にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から本県の消防防災行政の推進にひとたならぬご芳情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年、自治体消防制度の創設から七十周年を迎えたことを記念し、消防の発展を回顧するとともに、新たな決意のもと、安全で住みよい県づくりを推進するため、次のとおり「自治体消防七十周年記念富山県防火・防災推進大会」を開催いたします。

ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、ご臨席の榮を賜りますようご招待申し上げます。

平成三十年一月吉日

敬具

自治体消防七十周年記念富山県防火・防災推進大会実行委員会

委員長 山 本 修

記

一、日 時 平成三十年三月十七日（土）

午後一時から

一、場 所 富山県民会館大ホール

富山市新総曲輪四の十八

一、次第等

第一部 式 典 午後一時から

第二部 シンボジウム 午後三時十五分から

*お手数ですが、同封のはがきにてご都合を二月九日（金）までにご返送いただきますようお願いいたします。

*ご来場の際は、なるべく公共交通機関をご利用願います。